令和２年度
名張市在宅医療支援センター運営報告
（令和元年度実績）

～生まれ育ったまち、住み慣れたまちで暮らし続けられるよう

名賀医師会　　名張市在宅医療支援センター

目次

Ⅰ．名張市、伊賀市の状況
　１．人口の状況　・・・　１
　２．人口動態　・・・　２
　３．介護保険の状況　・・・　１０
　４．障害者の状況　・・・　１５

Ⅱ．令和元年度事業実績
　１．名張市在宅医療支援センターの運営　・・・　１６
　２．包括的なネットワークの構築　・・・　１７
　３．在宅医療推進のための環境づくり　・・・　２１
　４．市民への情報提供、啓発及び協働　・・・　２１
　５．その他　・・・　２２
　◇　多職種連携研修実績　・・・　２３
　◇　エンド・オブ・ライフ・ケア研修実績　・・・　２５
　◇　まちじゅう元気!!在宅医療入門講座実績　・・・　２８

Ⅲ．資料
　多職種連携研修　　チラシ、プログラム、レジメ　・・・　３０
　エンド・オブ・ライフ・ケア研修　チラシ、レジメ　・・・　３４
　スキルアップセミナー　チラシ　・・・　３９
　まちじゅう元気!!在宅医療入門講座　チラシ　・・・　４１
　健康・医療介護福祉フェスタ 2019　チラシ　プログラム　・・・　４２
　日本緩和医療学会東海北陸支部学術大会　口頭発表抄録　・・・　４５
　名張市在宅医療支援センター運営協議会規約、委員名簿　・・・　４６
　名張市在宅医療支援実務者会議会則、委員名簿　・・・　４８
　在宅医療に関する実態調査結果、集計表　・・・　５０

　名張市在宅医療支援センター沿革　・・・　７１

Ⅰ.名張市、伊賀市の状況

１．人口の状況

（１）人口の推移（各年10月1日現在）

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年
名張市	83,291	82,156	80,284	78,795	76,634
伊賀市（旧上野市）	61,493	100,623	97,207	90,581	87,083
伊賀市（旧伊賀町）	11,019				
伊賀市（旧島ケ原村）	2,752				
伊賀市（旧阿山町）	8,427				
伊賀市（旧大山田村）	5,987				
伊賀市（旧青山町）	11,849				

*資料：平成12年～平成27年は国勢調査、令和元年度は三重県戦略企画部統計課推計人口

（２）人口構成（概数）

令和元年10月1日現在

	総人口	年齢区分別人口			少年人口（18歳未満人口）				
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	0～5歳	６～11歳	12～14歳	15～17歳	計
名張市	76,634	9,359	42,400	24,371	3,319	4,031	2,009	2,147	11,506
伊賀市	87,083	9,767	47,973	29,324	3,509	4,074	2,184	2,323	12,090
三重県	1,779,770	217,362	1,020,103	522,588	79,278	90,721	47,363	50,831	268,198

＊資料：三重県戦略企画部統計課推計人口
＊年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
名張市	12.2	55.3	31.8	22.1	57.5	79.6	260.4
伊賀市	11.2	55.1	33.7	20.4	61.1	81.5	300.2
三重県	12.2	57.3	29.4	21.3	51.2	72.5	240.4

＊資料：三重県戦略企画部統計課推計人口

年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口}+\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

○　特徴

・老年人口割合が、名張市は31.8%、伊賀市は33.7%と三重県の29.4%を上回っています。

・年少人口割合は、名張市12.2%で三重県と同じであるが、伊賀市11.2%で、三重県より、1ポイント下回っています。

2. 人口動態

（１）人口動態等の概況

①人口静態（平成30年10月1日現在推計人口）　単位：人

	人　口		
	計	男	女
名張市	77,040	37,027	40,013
伊賀市	88,111	42,947	45,164
三重県	1,751,000	854,000	898,000

②人口動態（平成30年1月1日～12月31日）

		出　生			再掲	死　亡		
		計	男	女	低体重児出生	計	男	女
実数	名張市	487	245	242	39	808	405	403
	伊賀市	530	279	251	47	1,277	623	654
	三重県	12,582	6,404	6,178	1,133	20,900	10,555	10,345
率	名張市	6.3	6.6	6.0	80.1	10.5	10.9	10.1
	伊賀市	6.0	6.5	5.6	88.7	14.5	14.5	14.5
	三重県	7.2	7.5	6.9	90.0	11.9	12.4	11.5
	率の算出方法	人口千対	男子人口千対	女子人口千対	出生千対	人口千対	男子人口千対	女子人口千対

		再掲	再掲		周産期死亡	婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
		乳児死亡	新生児死亡	死産					
実数	名張市	0	0	8	4	313	136	△ 321	
	伊賀市	0	0	11	1	352	165	△ 747	
	三重県	21	9	251	36	7,446	2,929	△ 8,318	
率	名張市	－	－	16.2	8.1	4.1	1.8	△ 4.2	1.35
	伊賀市	－	－	20.3	1.9	4.0	1.9	△ 8.5	1.35
	三重県	1.7	0.7	19.6	2.9	4.2	1.6	△ 4.8	1.54
	率の算出方法	出生千対	出生千対	出産千対	出生千対	人口千対			

③合計特殊出生率の推移

	平成7年～11年	平成26年～30年
名張市	1.30	1.43
伊賀市	1.50	1.39
三重県	1.45	1.47

*資料：三重県医療保健部医療保健総務課

・△は減を示す。
・新生児死亡は生後4週未満の死亡。・早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
・死産は妊娠12週以後の死児の出産。・自然増加は出生数－死亡数。

合計特殊出生率＝ $\left\{ \dfrac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計

○　特徴
・合計特殊出生率は、名張市、伊賀市とも　三重県値を下回っています。
・自然増加率は、名張市－4.2で三重県値を0.6ポイント上回っています。
　伊賀市は、－8.5で、三重県値を3.7ポイント下回っています。

（２）死亡の動向
①死因別死亡状況

主要死因別死亡数・標準化死亡比（SMR）等　　平成30年1月1日～12月31日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤
名張市	死亡数	808	5	209	17	10	112	66	9
	SMR	97.9	387.9	88.1	193.7	176.8	90.1	101.6	78.1
	※調整	327.10	1.82	95.95	7.61	3.34	41.83	22.41	5.19
伊賀市	死亡数	1,277	2	294	12	12	212	85	17
	SMR	105.5	97.9	93.0	97.4	136.2	112.4	87.9	103.2
	※調整	332.79	0.23	98.81	4.37	3.09	51.16	24.48	6.55
三重県	死亡数	20,900	36	5,130	208	149	3,253	1,642	302
	SMR	103.1	108.8	93.1	98.9	87.4	104.5	101.8	108.2
	※調整	342.83	0.41	104.52	3.78	1.92	49.02	24.61	5.51

*資料：三重県医療保健部医療保健総務課

		肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
名張市	死亡数	42	9	1	11	13	87	32	11
	SMR	76.1	80.7	105.3	99.7	154.5	142.0	127.3	89.9
	※調整	13.36	2.10	0.21	7.11	4.76	21.43	18.33	12.45
伊賀市	死亡数	123	14	4	11	37	166	47	13
	SMR	139.5	83.5	273.7	78.9	84.3	154.8	132.0	90.8
	※調整	21.87	2.85	0.81	5.97	8.04	22.05	14.33	16.23
三重県	死亡数	1,425	287	20	207	430	2,309	693	293
	SMR	100.2	103.4	83.2	82.0	110.0	138.9	113.6	103.2
	※調整	16.70	3.72	0.33	5.23	5.74	20.06	20.06	14.28

※調整　＝年齢調整死亡率（人口10万人対）

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\{\text{観察集団の年齢}\chi\text{歳（年齢階級）の死亡率}\times\text{基準人口集団のその年齢}\ \chi\text{歳（年齢階級）の人口}\}\text{の各年齢（年齢階級）についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口：　昭和60年モデル人口を使用

特徴
・名張市の死因順位は、第1位悪性新生物　209人、第２位心疾患　112人、第３位老衰　87人で、これら3大死因の占める割合は、50.5%となっています。
・伊賀市の死因順位も名張市と同じで、3大死因の占める割合は、52.6%となっています。

・名張市は、年齢構成を補正した年齢調整死亡率は327.1で死因別では糖尿病、肝疾患、老衰でそれぞれ三重県値を上回っています。
・伊賀市は年齢調整死亡率では332.79で、死因別では心疾患、肺炎、腎不全で三重県値を2ポイント以上上回っています。

年齢調整死亡率（人口10万対）（注）

死因		平成21年～平成25年累計		平成26年～平成30年累計	
		男性	女性	男性	女性
悪性新生物	名張市	174.5	87	153.8	83.0
	伊賀市	181.4	84.8	157.4	79.8
	三重県	169.6	82.6	151.8	79.0
心疾患	名張市	65.2	29.2	54.3	31.2
	伊賀市	77.9	38.2	78.5	29.8
	三重県	69.9	37.5	65.3	34.4
脳血管疾患	名張市	40.1	22.7	30.0	19.1
	伊賀市	40.4	21.1	33.7	20.3
	三重県	44.8	26.0	34.7	21.0
交通事故	名張市	5.8	3.5	6.1	1.6
	伊賀市	10.2	1.3	6.2	1.6
	三重県	7.9	2.9	6.3	1.9
肝疾患	名張市	7.0	1.4	8.1	3.6
	伊賀市	8.3	3.9	7.4	3.7
	三重県	8.1	2.9	7.4	3.1
糖尿病	名張市	4.6	3.4	7.9	3.2
	伊賀市	3.7	2.2	5.2	1.6
	三重県	6.5	3.4	5.6	2.4
高血圧	名張市	1.5	0.3	1.0	1.4
	伊賀市	1.7	1.6	2.4	2.0
	三重県	1.8	1.6	1.7	1.4

40～64歳における生活習慣病死亡率（人口10万対）

	平成21年～25年累計			平成26年～30年累計		
	計	男性	女性	計	男性	女性
名張市	208.6	290.4	133.9	185.7	231.8	143.6
伊賀市	227.3	300.7	154.8	185.3	251.3	119.1
三重県	204.4	270.8	139.3	170.5	217.5	123.7

自殺者

		平成21年～25年累計			平成26年～30年累計		
		計	男性	女性	計	男性	女性
実数	名張市	75	49	26	52	41	11
	伊賀市	87	60	27	74	45	29
	三重県	1,853	1,344	509	1,512	1,063	449
率（人口10万対）	名張市	18.7	25.5	12.5	13.3	21.9	5.4
	伊賀市	18.1	25.7	10.9	16.4	20.6	12.5
	三重県	20.1	29.9	10.7	16.7	24.2	9.7

資料：三重県ヘルシーピープルみえ21データバンクシステムより

（注）年齢調整死亡率とは年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率
年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較ができる。

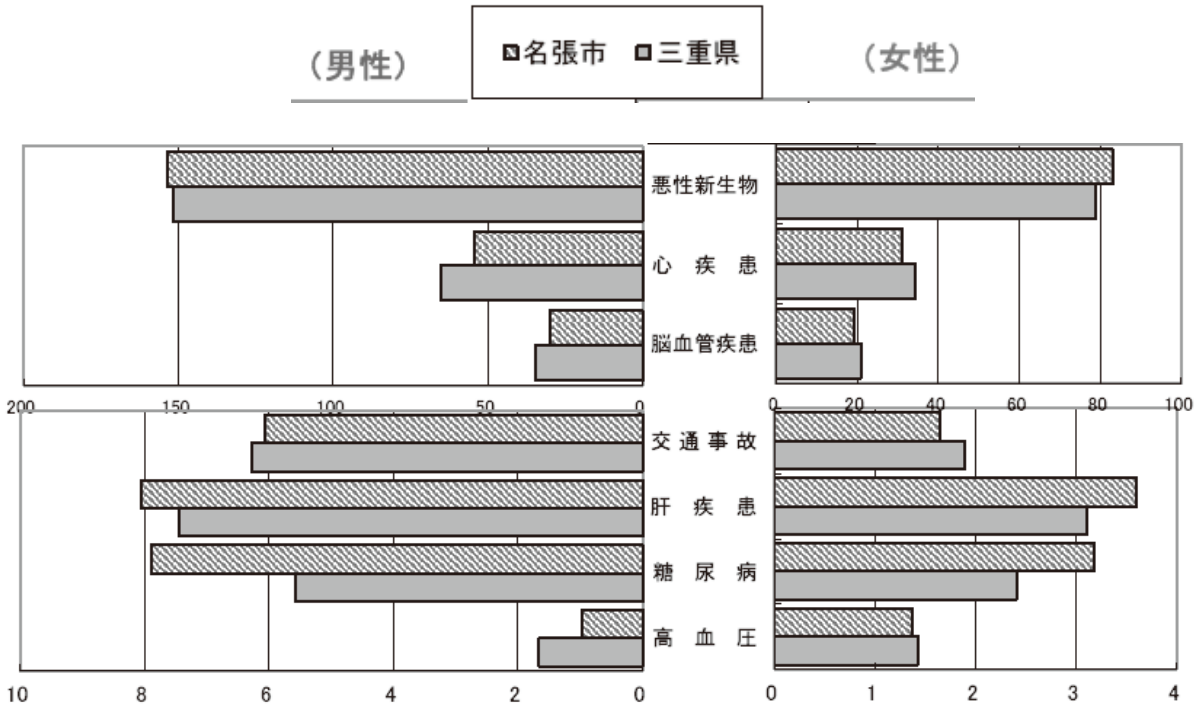
○ 特徴

・年齢調整死亡率（平成26年～30年累計）で糖尿病によるものが、名張市男性は、三重県値を2.3ポイント上回っており、前回累計から3.3ポイント上昇している。

・40～64歳における生活習慣病死亡率（平成26～30年）で名張市男性、女性は三重県値よりそれぞれ14.3ポイント、19.9ポイント上回っている。

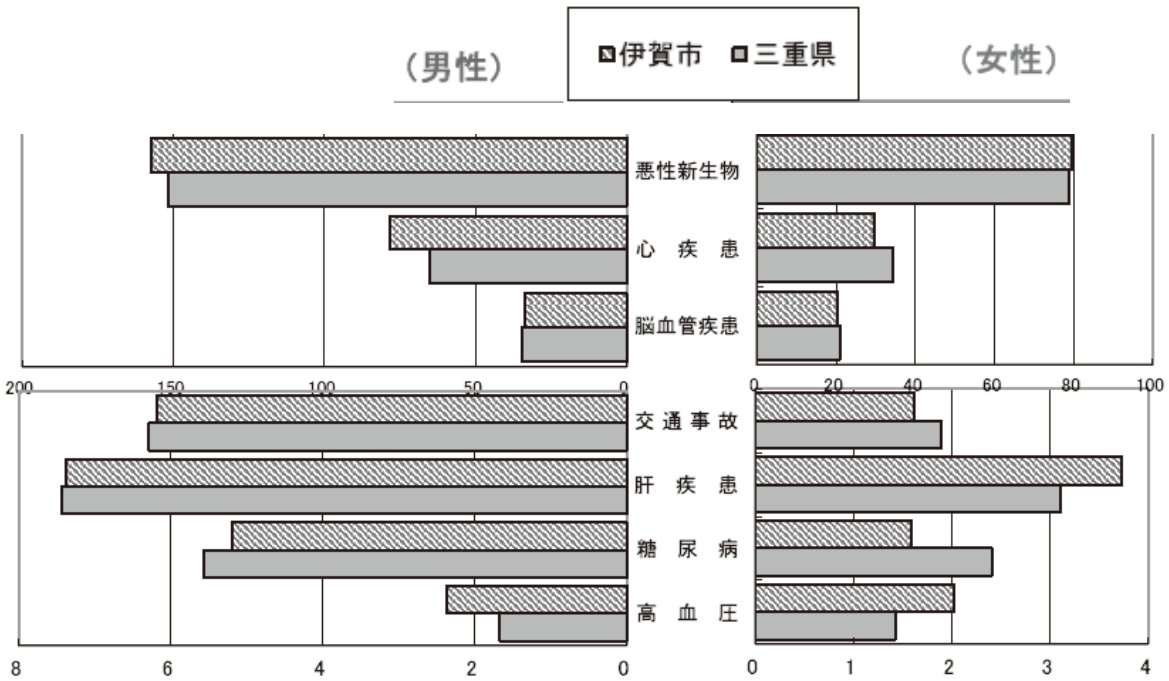
・40～64歳における生活習慣病死亡率（平成26～30年）で伊賀市男性は三重県値より33.8ポイント上回っている。

年齢調整死亡率（平成 26～30 年累計）



特徴（名張市）

・男性、女性とも糖尿病で三重県値を上回っている。

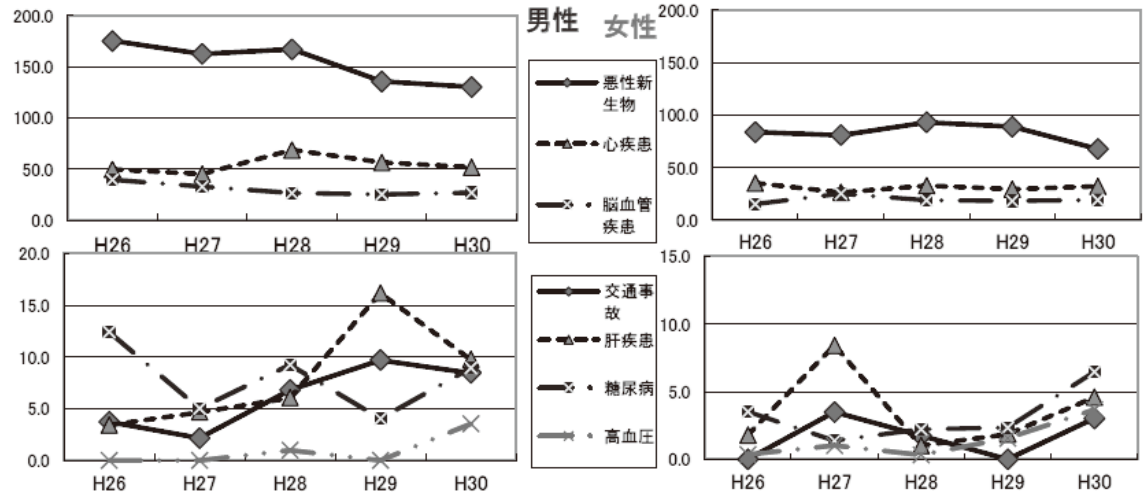


特徴（伊賀市）

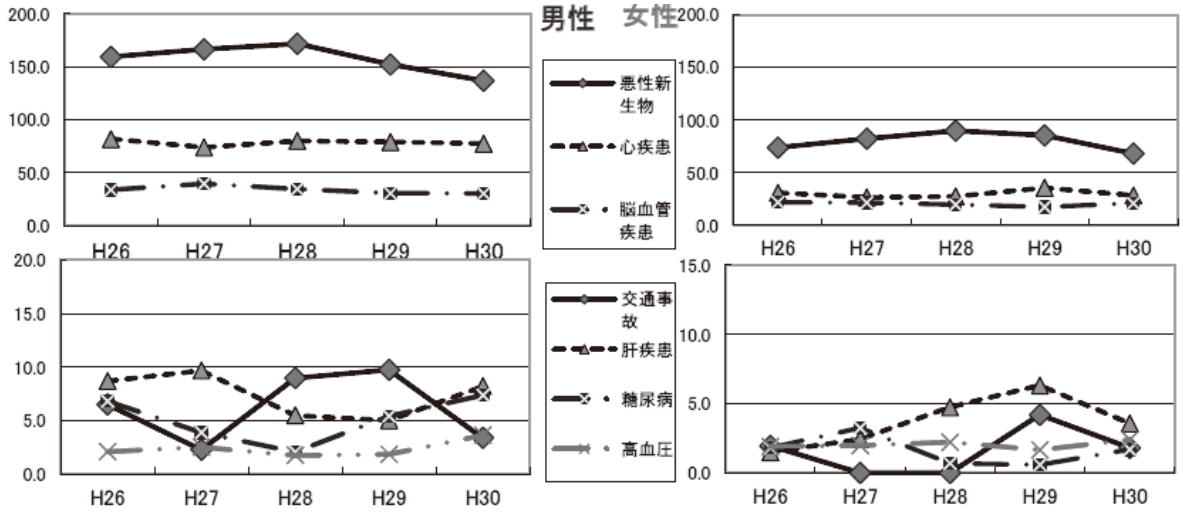
・男性では、高血圧で三重県値を上回っている。

・女性では、肝疾患、高血圧で三重県値を上回っている。

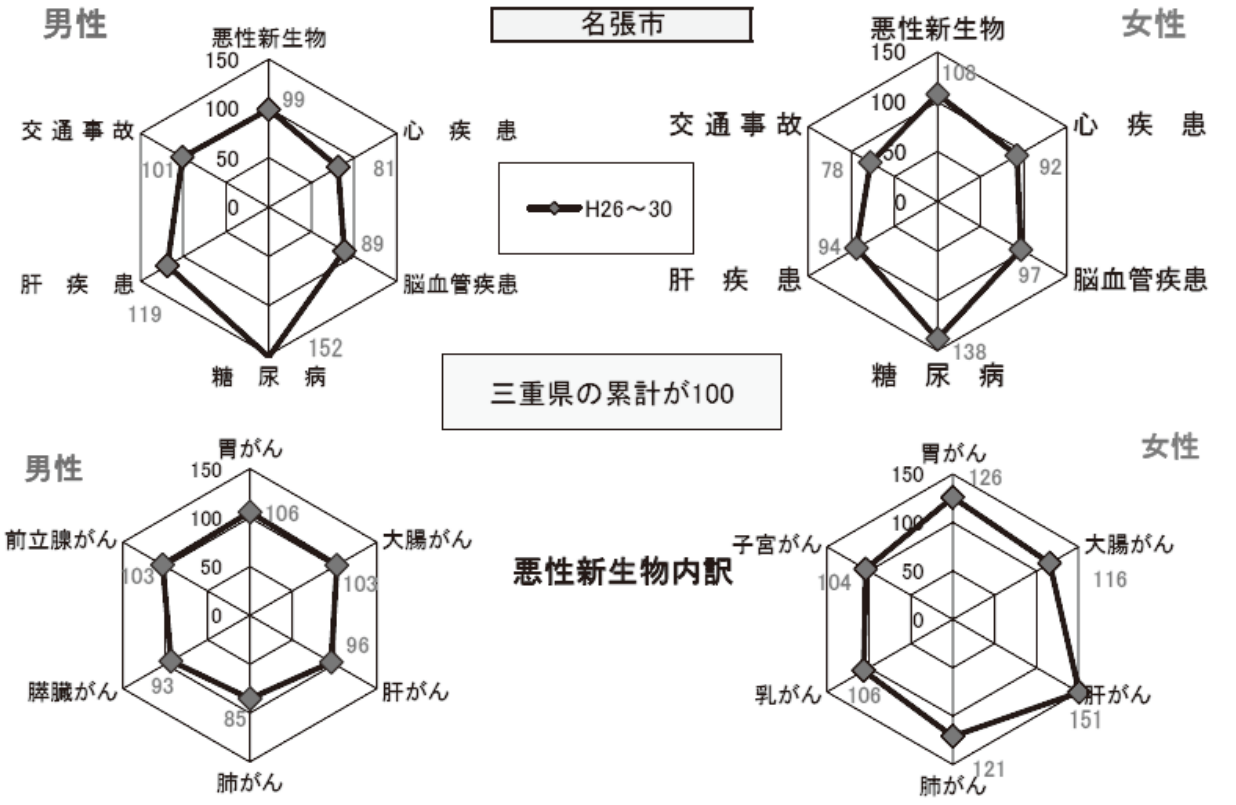
年齢調整死亡率の年次推移　　名張市

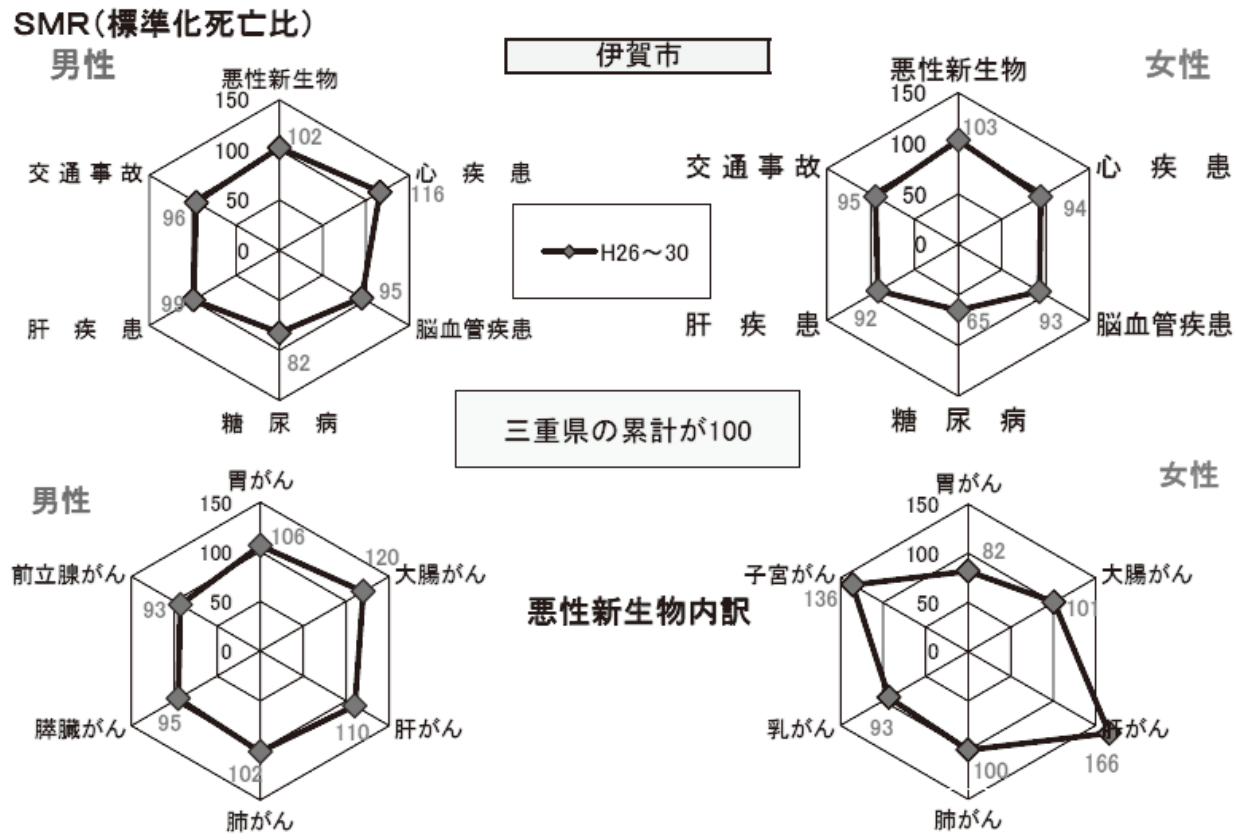


年齢調整死亡率の年次推移　　伊賀市



ＳＭＲ（標準化死亡比）





標準化死亡比：年齢構成の差異を基準の死亡率で調整し（期待死亡数）、調整した値の現実の死亡数に対する比をいいます。

②死亡場所の状況（平成 30 年）

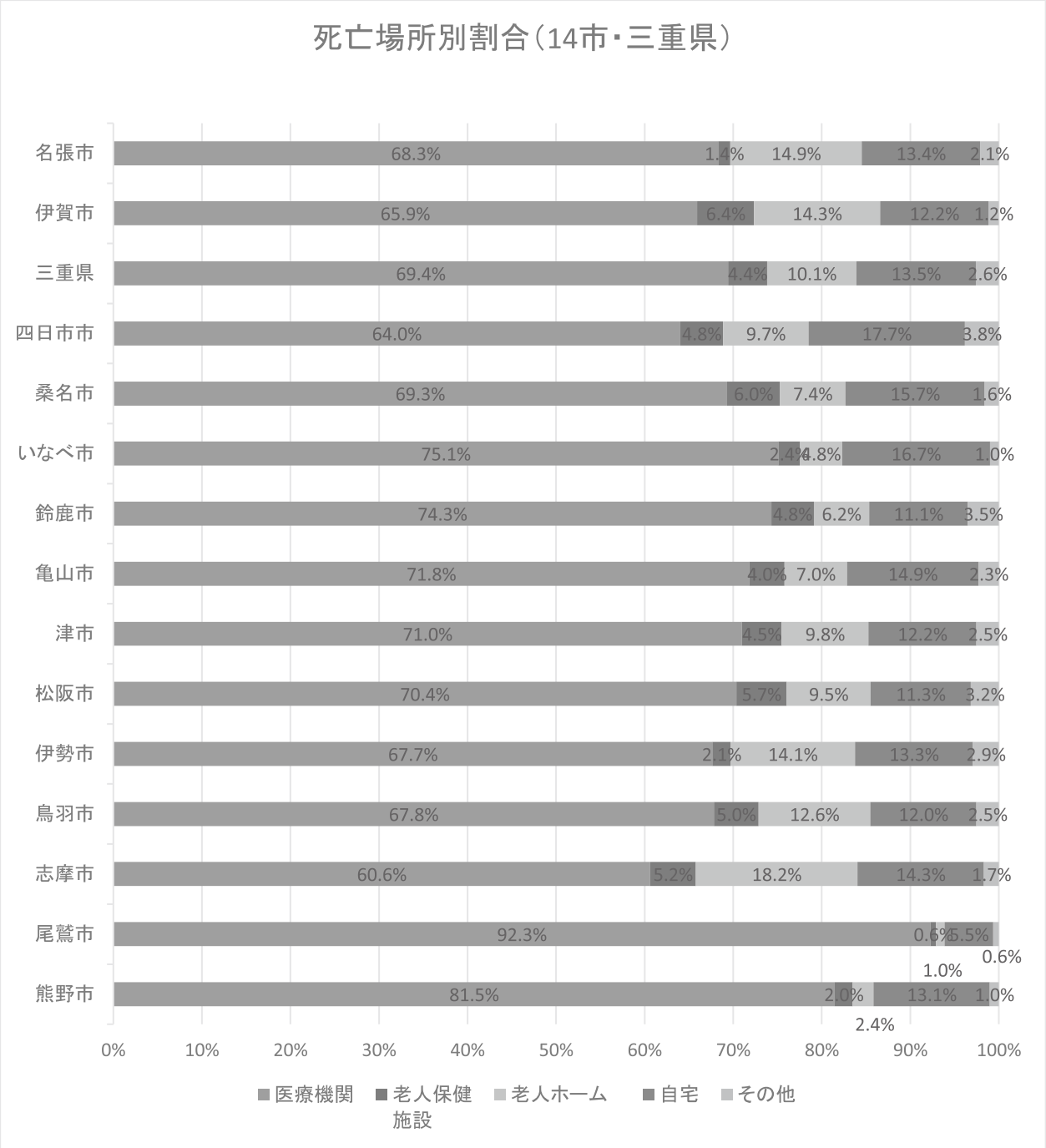
場所別死亡数

	医療機関			老人保健施設	在宅			その他	総数
	病院	診療所	小計		老人ホーム	自宅	小計		
名張市	552	-	552	11	120	108	228	17	808
伊賀市	835	7	842	82	182	156	338	15	1,277
三重県	14,273	238	14,511	919	2,107	2,821	4928	542	20,900
四日市市	2,016	11	2,027	153	306	559	865	121	3,166
桑名市	891	62	953	82	102	216	318	22	1,375
いなべ市	372	2	374	12	24	83	107	5	498
鈴鹿市	1,335	45	1,380	89	116	207	323	65	1,857
亀山市	367	10	377	21	37	78	115	12	525
津市	2,230	25	2,255	143	311	388	699	80	3,177
松阪市	1,340	20	1,360	110	183	219	402	61	1,933
伊勢市	1,066	22	1,088	33	226	214	440	47	1,608
鳥羽市	215	-	215	16	40	38	78	8	317
志摩市	504	1	505	43	152	119	271	14	833
尾鷲市	287	-	287	2	3	17	20	2	311
熊野市	242	-	242	6	7	39	46	3	297

死亡場所別割合

	医療機関	老人保健施設	在宅			その他	合計
			老人ホーム	自宅	計		
名張市	68.3%	1.4%	14.9%	13.4%	28.2%	2.1%	100.0%
伊賀市	65.9%	6.4%	14.3%	12.2%	26.5%	1.2%	100.0%
三重県	69.4%	4.4%	10.1%	13.5%	23.6%	2.6%	100.0%
四日市市	64.0%	4.8%	9.7%	17.7%	27.3%	3.8%	100.0%
桑名市	69.3%	6.0%	7.4%	15.7%	23.1%	1.6%	100.0%
いなべ市	75.1%	2.4%	4.8%	16.7%	21.5%	1.0%	100.0%
鈴鹿市	74.3%	4.8%	6.2%	11.1%	17.4%	3.5%	100.0%
亀山市	71.8%	4.0%	7.0%	14.9%	21.9%	2.3%	100.0%
津市	71.0%	4.5%	9.8%	12.2%	22.0%	2.5%	100.0%
松阪市	70.4%	5.7%	9.5%	11.3%	20.8%	3.2%	100.0%
伊勢市	67.7%	2.1%	14.1%	13.3%	27.4%	2.9%	100.0%
鳥羽市	67.8%	5.0%	12.6%	12.0%	24.6%	2.5%	100.0%
志摩市	60.6%	5.2%	18.2%	14.3%	32.5%	1.7%	100.0%
尾鷲市	92.3%	0.6%	1.0%	5.5%	6.4%	0.6%	100.0%
熊野市	81.5%	2.0%	2.4%	13.1%	15.5%	1.0%	100.0%

死亡場所別割合



特徴

名張市：老人ホームでの死亡割合が、三重県値を 4.8 ポイント上回っている。

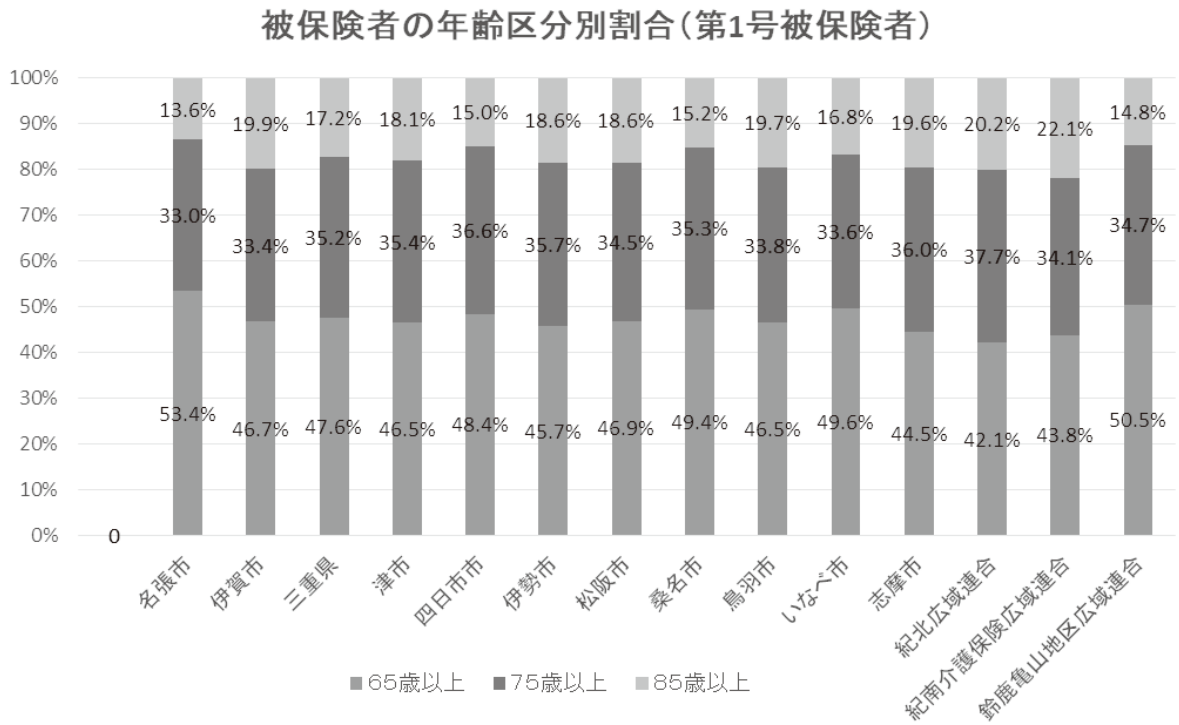
伊賀市：老人保健施設での死亡割合が、三重県値を２ポイント上回っている。

３．介護保険の状況（令和元年度末）

（１）被保険者数(第１号被保険者)　　令和２年３月末現在

保険者	６５歳以上７５歳未満	７５歳以上８５歳未満	８５歳以上	総計	６５歳以上７５歳未満	７５歳以上８５歳未満	８５歳以上	総計
名張市	13,292	8,208	3,371	24,871	53.4%	33.0%	13.6%	100.0%
伊賀市	13,849	9,926	5,900	29,675	46.7%	33.4%	19.9%	100.0%
三重県	252,126	186,140	91,043	529,309	47.6%	35.2%	17.2%	100.0%
津市	37,765	28,791	14,684	81,240	46.5%	35.4%	18.1%	100.0%
四日市市	38,883	29,411	12,026	80,320	48.4%	36.6%	15.0%	100.0%
伊勢市	18,074	14,129	7,370	39,573	45.7%	35.7%	18.6%	100.0%
松阪市	22,561	16,614	8,972	48,147	46.9%	34.5%	18.6%	100.0%
桑名市	18,427	13,170	5,674	37,271	49.4%	35.3%	15.2%	100.0%
鳥羽市	3,237	2,355	1,369	6,961	46.5%	33.8%	19.7%	100.0%
いなべ市	6,113	4,138	2,068	12,319	49.6%	33.6%	16.8%	100.0%
志摩市	8,567	6,934	3,772	19,273	44.5%	36.0%	19.6%	100.0%
紀北広域連合	6,052	5,429	2,908	14,389	42.1%	37.7%	20.2%	100.0%
紀南介護保険広域連合	6,332	4,937	3,190	14,459	43.8%	34.1%	22.1%	100.0%
鈴鹿亀山地区広域連合	31,760	21,867	9,318	62,945	50.5%	34.7%	14.8%	100.0%

資料：厚生労働省　介護保険事業報告（令和２年３月分）



〇特徴

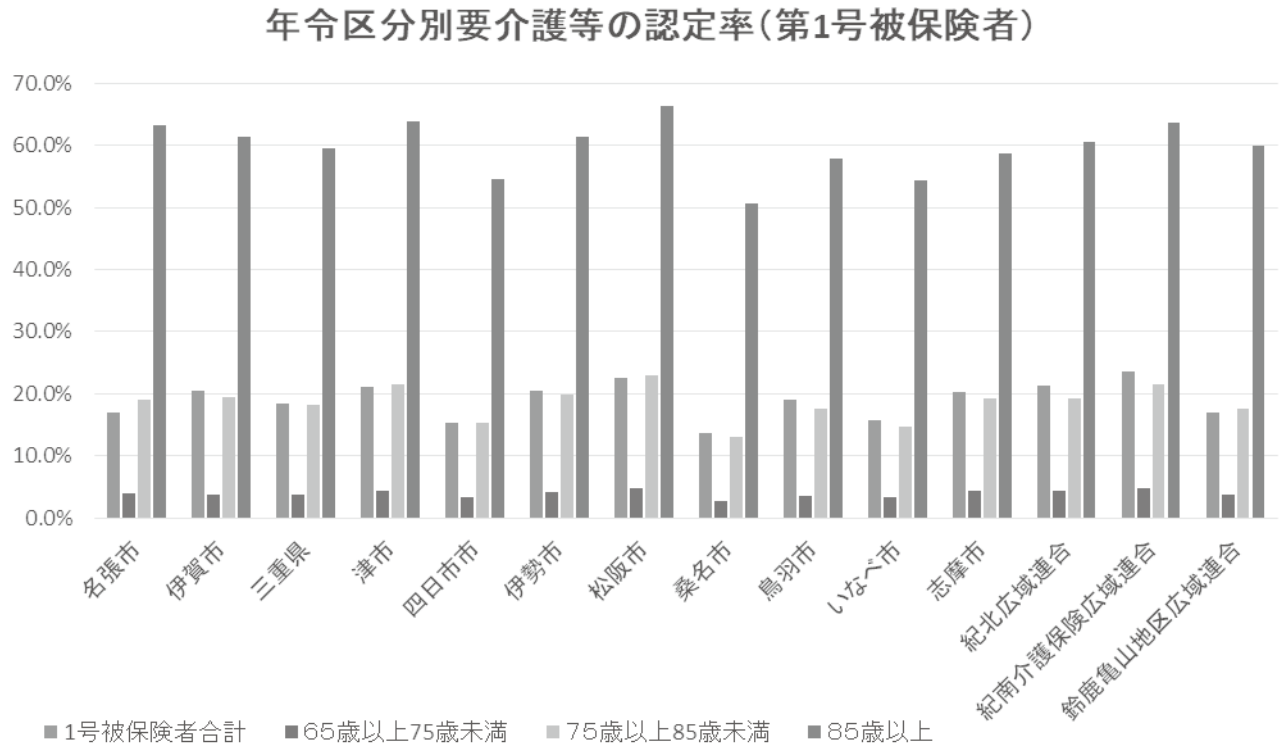
・名張市は、13 保険者の中で、第 1 号被保険者の 65 歳以上 75 歳未満の割合が 1 番多く、85 歳以上割合が 1 番少なくなっています。

（２）要介護等認定者数・率

令和２年３月末現在

	実数				割合			
	第１号被保険者合計	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上 85 歳未満	85 歳以上	第１号被保険者合計	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上 85 歳未満	85 歳以上
名張市	4,218	529	1,559	2,130	17.0%	4.0%	19.0%	63.2%
伊賀市	6,077	527	1,931	3,619	20.5%	3.8%	19.5%	61.3%
三重県	97,692	9,617	33,892	54,183	18.5%	3.8%	18.2%	59.5%
津市	17,179	1,622	6,188	9,369	21.1%	4.3%	21.5%	63.8%
四日市市	12,332	1,283	4,495	6,554	15.4%	3.3%	15.3%	54.5%
伊勢市	8,075	761	2,790	4,524	20.4%	4.2%	19.7%	61.4%
松阪市	10,830	1,075	3,798	5,957	22.5%	4.8%	22.9%	66.4%
桑名市	5,066	481	1,711	2,874	13.6%	2.6%	13.0%	50.7%
鳥羽市	1,321	116	413	792	19.0%	3.6%	17.5%	57.9%
いなべ市	1,929	199	606	1,124	15.7%	3.3%	14.6%	54.4%
志摩市	3,916	376	1,330	2,210	20.3%	4.4%	19.2%	58.6%
紀北広域連合	3,069	262	1,045	1,762	21.3%	4.3%	19.2%	60.6%
紀南介護保険広域連合	3,393	307	1,058	2,028	23.5%	4.8%	21.4%	63.6%
鈴鹿亀山地区広域連合	10,609	1,165	3,862	5,582	16.9%	3.7%	17.7%	59.9%

資料：厚生労働省　介護保険事業報告（令和２年３月分）



〇特徴

・名張市は、第１号被保険者全体での要介護等の認定率は 13 保険者のうち、低い方から５番となっていますが、年齢区分別では三重県値より高い傾向となっています。

要介護等認定者数

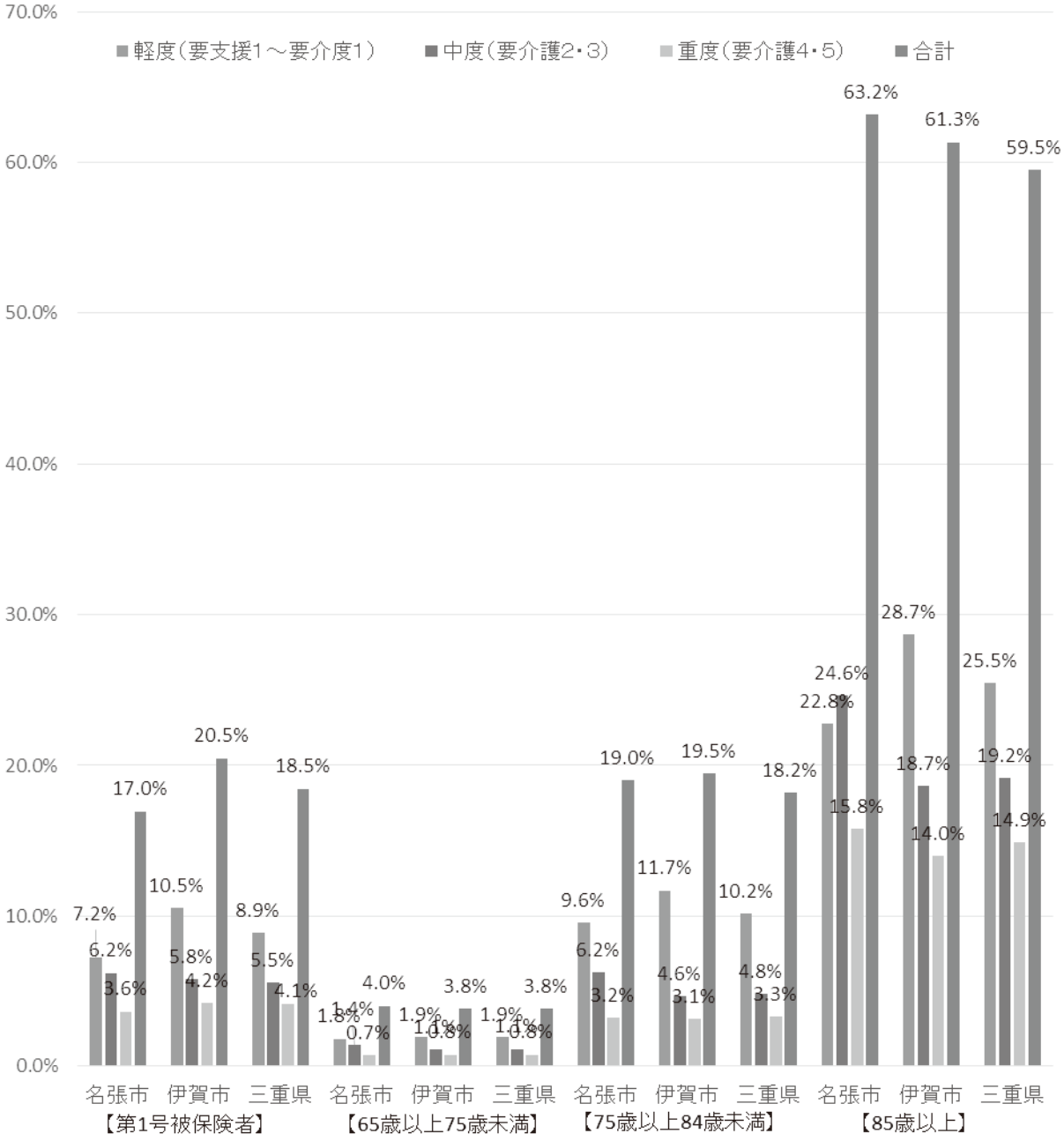
令和２年３月末現在

		保険者	軽度（要支援１～要介度１）	中度（要介護２・３）	重度（要介護４・５）	合計
実数	第１号被保険者	名張市	1,792	1,531	895	4,218
		伊賀市	3,123	1,713	1,241	6,077
		三重県	46,951	29,190	21,551	97,692
	再掲：第１号被保険者（65～74歳）	名張市	240	191	98	529
		伊賀市	268	154	105	527
		三重県	4,858	2,840	1,919	9,617
	再掲：第１号被保険者（75～84歳）	名張市	785	510	264	1,559
		伊賀市	1,162	458	311	1,931
		三重県	18,910	8,914	6,068	33,892
	再掲：第１号被保険者（85歳～）	名張市	767	830	533	2,130
		伊賀市	1,693	1,101	825	3,619
		三重県	23,183	17,436	13,564	54,183
	２号被保険者	名張市	37	25	23	85
		伊賀市	40	20	22	82
		三重県	832	585	451	1,868
	計	名張市	1,829	1,556	918	4,303
		伊賀市	3,163	1,733	1,263	6,159
		三重県	47,783	29,775	22,002	99,560
割合（各人口対）h	第１号被保険者	名張市	7.2%	6.2%	3.6%	17.0%
		伊賀市	10.5%	5.8%	4.2%	20.5%
		三重県	8.9%	5.5%	4.1%	18.5%
	再掲：第１号被保険者（65～74歳）	名張市	1.8%	1.4%	0.7%	4.0%
		伊賀市	1.9%	1.1%	0.8%	3.8%
		三重県	1.9%	1.1%	0.8%	3.8%
	再掲：第１号被保険者（75～84歳）	名張市	9.6%	6.2%	3.2%	19.0%
		伊賀市	11.7%	4.6%	3.1%	19.5%
		三重県	10.2%	4.8%	3.3%	18.2%
	再掲：第１号被保険者（85歳～）	名張市	22.8%	24.6%	15.8%	63.2%
		伊賀市	28.7%	18.7%	14.0%	61.3%
		三重県	25.5%	19.2%	14.9%	59.5%

資料：厚生労働省　介護保険事業報告（令和２年３月分）

年令区分別要介護度等別割合

令和２年３月末現在



○特徴

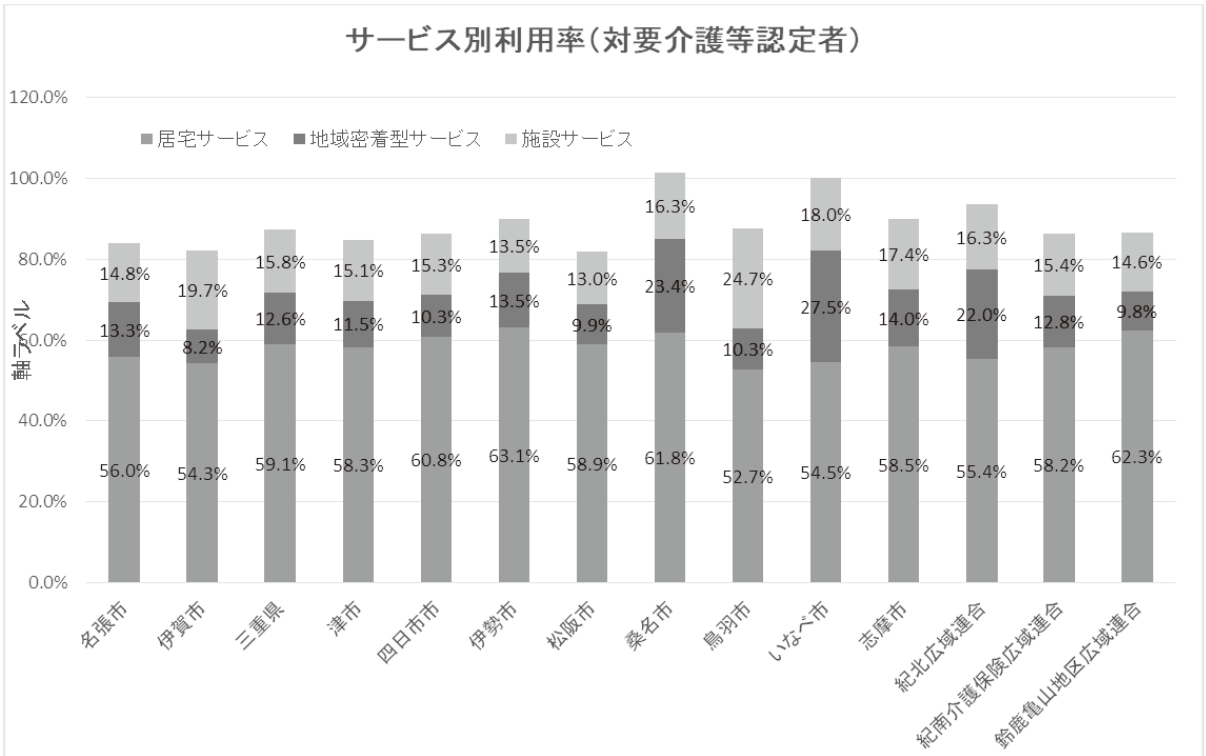
・名張市は、85 歳以上の認定率で、軽度の認定率が三重県値より 2.7 ポイント低く、中度の認定率が三重県値より 5.4 ポイント高くなっており、合計では三重県値より 3.7 ポイント高くなっています。

（３）サービス受給者数・サービス利用率

令和２年１月サービス利用分

保険者名	要介護等認定者数（第2号被保険者含む）	サービス受給者数				認定者に占める割合			
		居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス	計	居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス	計
名張市	4,303	2,408	574	636	3,618	56.0%	13.3%	14.8%	84.1%
伊賀市	6,159	3,347	503	1,211	5,061	54.3%	8.2%	19.7%	82.2%
三重県	99,560	58,806	12,512	15,757	87,075	59.1%	12.6%	15.8%	87.5%
津市	17,478	10,191	2,005	2,635	14,831	58.3%	11.5%	15.1%	84.9%
四日市市	12,581	7,655	1,299	1,920	10,874	60.8%	10.3%	15.3%	86.4%
伊勢市	8,252	5,206	1,114	1,110	7,430	63.1%	13.5%	13.5%	90.0%
松阪市	10,983	6,469	1,087	1,432	8,988	58.9%	9.9%	13.0%	81.8%
桑名市	5,178	3,199	1,210	843	5,252	61.8%	23.4%	16.3%	101.4%
鳥羽市	1,362	718	140	336	1,194	52.7%	10.3%	24.7%	87.7%
いなべ市	1,971	1,075	543	354	1,972	54.5%	27.5%	18.0%	100.1%
志摩市	3,998	2,340	559	694	3,593	58.5%	14.0%	17.4%	89.9%
紀北広域連合	3,115	1,725	686	508	2,919	55.4%	22.0%	16.3%	93.7%
紀南介護保険広域連合	3,449	2,006	441	531	2,978	58.2%	12.8%	15.4%	86.3%
鈴鹿亀山地区広域連合	10,864	6,768	1,063	1,584	9,415	62.3%	9.8%	14.6%	86.7%

資料：厚生労働省　介護保険事業報告（令和２年３月分）



〇特徴

・名張市は、認定者に対する居宅サービスの利用率が三重県値より 3.1 ポイント低くなっています。

・伊賀市は、地域密着型サービス利用率で、13 保険者の中で一番低く、施設サービスの利用率では 2 番目に高い値となっています。

4. 障害者の状況

（１）身体障害者（児）手帳保持者の状況

令和２年4月1日現在

		視覚障害	聴覚障害	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計
名張市	児	2	6	0	43	13	64
	者	180	361	40	1,798	974	3,353
	小計	182	367	40	1,841	987	3,417
伊賀市	児	3	4	1	36	5	49
	者	286	516	50	2,533	1,264	4,649
	小計	289	520	51	2,569	1,269	4,698

（２）療育手帳保持者の状況

令和２年4月1日現在

		A（最重度・重度）	B（中度・軽度）	合計
名張市	児	52	122	174
	者	237	364	601
	小計	289	486	775
伊賀市	児	55	131	186
	者	270	395	665
	小計	325	526	851

（３）精神障害者保健福祉手帳保持者の状況

令和２年３月31日現在

	障害等級			合計
	1	2	3	
名張市	77	539	207	823
伊賀市	70	496	164	730

（４）自立支援医療（精神通院医療）受給者証保持者の状況

令和２年３月31日現在

	発行件数
名張市	1,452
伊賀市	1,576

資料：令和２年度三重県伊賀保健所年報（令和元年度実績）

令和元年度名張市在宅医療支援センター事業運営実績

１．名張市在宅医療支援センターの運営

（１）会議の開催

①名張市在宅医療支援センター運営協議会

1回開催　出席者：運営協議会委員　13名、事務局2名

日時	場所	議　　題	出席者
平成31年 ４月23日 （火） 午後８時～９時	名賀医師会 会議室	・平成30年度名張市在宅医療支援センター事業実績及び決算について ・平成31年度名張市在宅医療支援センター事業計画（案）及び予算（案）について	・運営協議会委員 13名 ・事務局 ２名

＊名張市在宅医療支援センター運営協議会規約改正（令和２年３月１日施行）により今年度から運営協議会は年１回開催となる。

②名張市在宅支援実務者会議

4回開催　出席者（延）：実務者会議委員　67名、オブザーバー　8名

	日時	場所	議　　題	出席者
第 1 回	令和元年 ５月21日 （火） 午後８時～９時	名張市保健センター 大会議室	・　平成30年度名張市在宅医療支援センター事業運営実績について ・　令和元年度名張市在宅医療支援センター事業運営計画について ・　在宅医療入門講座について	・実務者会議委員：18名 ・オブザーバー：３名 ・事務局：２名
第 2 回	７月23日 （火） 午後８時～９時	名張市保健センター 大会議室	・　エンドオブライフケア研修実施報告 ・　健康・医療介護福祉フェスタ2019の開催について ・　テーマ研修～人生の最終段階におけるケア研修の実施について ・　看護職連携構築事業の実施について ・　看護職スキルアップセミナーの実施について ・　第1回日本在宅医療連合学会大会参加報告	・実務者会議委員：16名 ・オブザーバー：３名 ・事務局：２名
第 3 回	９月10日 （火） 午後８時～９時	名張市保健センター 大会議室	・　まちじゅう元気‼在宅医療入門講座第1回　実施報告 ・　テーマ研修～エンドオブライフケアケア研修の実施について ・　多職種連携研修の実施について ・　健康・医療介護福祉フェスタ2019の開催について ・　在宅医療などの関する実態調査～介護支援専門員調査の実施について ・　患者の意思を尊重した意思決定のための研修会参加報告	・実務者会議委員：17名 ・オブザーバー：２名 ・事務局：２名
第 4 回	11月19日 （火） 午後８時～９時	名張市保健センター 大会議室	・　まちじゅう元気‼在宅医療入門講座　実施報告 ・　健康・医療介護福祉フェスタ2019実施報告 ・　エンドオブライフケアケア研修（10月31日）の実施報告 ・　多職種連携研修の実施について ・　スキルアップセミナーの開催について	・実務者会議委員：16名 ・オブザーバー：２名 ・事務局：２名

＊第５回実務者会議（令和2年3月）はCOVID-19感染拡大防止のため中止

(2) 本人・家族及び関係機関・職員への相談支援

①　相談支援件数

相談実件数	81	（件）
相談延件数	159	

②　相談支援方法別

	電話相談	来所相談	訪問相談	合計	
新規相談支援	64	9	8	81	実件数
再相談支援	44	3	31	78	延件数
合計延べ件数	108	12	39	159	

③　新規相談支援の属性

		電話相談	来所相談	訪問相談	合計	割合
名張市内	本人	11	4	7	22	26.2%
	家族	14	3	4	21	25.0%
	ケアマネジャー	8	1	0	9	10.7%
	医療機関（医科）	3	0	0	3	3.6%
	名張市立病院	1	0	0	1	1.2%
	訪問看護事業所	1	0	0	1	1.2%
	障害福祉事業所	2	0	0	2	2.4%
	民生委員児童委員	0	0	0	0	0.0%
	行政機関	13	1	0	14	16.7%
	その他	0	0	0	0	0.0%
三重県内	病院	4	0	0	4	4.8%
	行政機関	0	0	0	0	0.0%
三重県外	病院	7	0	0	7	8.3%
	行政機関	0	0	0	0	0.0%
合　　計		64	9	11	84	100.0%

*訪問相談では、複数人での新規相談があった。

④　相談支援内容内訳（複数内容有）

	新規相談支援	再相談支援	合　計	割合
①相談のみ（傾聴）	0	0	0	0.0%
②情報収集・提供	77	77	154	54.8%
③在宅医療主治医依頼	10	13	23	8.2%
④診療所紹介・情報提供	17	10	27	9.6%
⑤病院紹介・情報提供	26	11	37	13.2%
⑥歯科医紹介・情報提供	5	1	6	2.1%
⑦薬局紹介	0	0	0	0.0%
⑧包括支援センター・まちの保健室と連携	4	3	7	2.5%
⑨居宅支援事業所と連携	4	9	13	4.6%
⑩訪問リハ連絡会を紹介・連携	0	0	0	0.0%
⑪訪問看護事業所と連携	3	4	7	2.5%
⑫介護サービス事業所を紹介・連携	0	1	1	0.4%
⑬高齢者支援室を紹介・連携	0	0	0	0.0%
⑭障害支援室を紹介・連携	1	0	1	0.4%
⑮高齢・障害者支援室以外の部署紹介・連携	2	0	2	0.7%
⑯障害者福祉事業所を紹介・連携	1	2	3	1.1%
合　　計	150	131	281	100.0%

2．包括的なネットワークの構築

（1-1）多職種連携研修の開催

目的：医療病床数、医師数などの医療資源が少ない名張市で、医療、福祉、保健従事者などの「人」の力を引き出しネットワークをつくることで「生まれ育ったまち、住み慣れたまちで暮らしつづける」ことの実現をめざす。

2回開催　参加者総数（延）：123名

＊2、3月に開催予定していました名張市4・5生活圏域多職種連携研修及びコミュニケーションアップ研修はCOVID-19感染拡大防止のため中止

①　研修内容

日　　時	場　所	内　　容	参加者
令和２年 １月30日 （木） 午後６時30分 ～８時30分	名張市防災センター	◇名張市１・２・３生活圏域多職種連携研修 テーマ：『いつでも　どこでも多職種連携』 内　容：未来志向型ケース検討(マインドマップ～見える事例検討) ○ファシリテーター 名張市立病院地域医療教育研修センター長、 橋本胃腸科内科院長　　橋本　修嗣先生 名張市立病院　総合診療科教育研修担当部長　近藤　誠吾先生 ○事例提供：名張養護老人ホームみさと園　施設長　萩森　真里子さん 主任看護師　松岡　道人さん、 主任　生活相談員　吉岡　洋さん	74名 （実務者会議委員　7名含む）
令和２年 ２月８日 （土） 午後２時～４時	伊賀市青山福祉センター	◇青山地区多職種連携研修 テーマ：『好きなようにさせてほしい！』92歳女性への多職種連携 内　容：未来志向型ケース検討会（ストレングスモデル） ○コーディネーター：伊賀市地域包括支援センター　南部サテライト 保健師　　山田　順恵氏 ○事例提供　伊賀市社会福祉協議会　ケアプランセンター南部 介護支援専門員　直木　桃子氏	49名 （実務者会議委員　2名含む）

② 参加者総数

ア． 参加者総数

	1・2・3生活圏域多職種連携研修		青山地区多職種連携研修		合計	
	人数		人数		人数	
事業所など従事者	67		47		67	
実務者会議委員	7		2		7	
合　　計	74		49		74	

イ． 所　属

	1・2・3生活圏域多職種連携研修		青山地区多職種連携研修		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医療機関	19	25.7%	7	14.3%	26	21.1%
介護保険居宅サービス事業所	22	29.7%	15	30.6%	37	30.1%
介護保険施設サービス事業所	12	16.2%	1	2.0%	13	10.6%
〃　地域密着型サービス事業	4	5.4%	0	0.0%	4	3.3%
民生委員児童委員	0	0.0%	18	36.7%	18	14.6%
社会福祉協議会	0	0.0%	2	4.1%	2	1.6%
行政機関	10	13.5%	5	10.2%	15	12.2%
その他	7	9.5%	1	2.0%	8	6.5%
合　　計	74	100.0%	49	100.0%	123	100.0%

ウ． 職　　種

	1・2・3生活圏域多職種連携研修		青山地区多職種連携研修		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医師	4	5.4%	1	2.0%	5	4.1%
歯科医師	3	4.1%	1	2.0%	4	3.3%
薬剤師	5	6.8%	3	6.1%	8	6.5%
保健師	5	6.8%			5	4.1%
看護師	7	9.5%	3	6.1%	10	8.1%
歯科衛生士	2	2.7%	2	4.1%	4	3.3%
理学療法士	1	1.4%	1	2.0%	2	1.6%
管理栄養士	1	1.4%	0	0.0%	1	0.8%
機能訓練指導員	1	1.4%	0	0.0%	1	0.8%
医療ソーシャルワーカー	2	2.7%	0	0.0%	2	1.6%
民生委員・児童委員	0	0.0%	18	36.7%	18	14.6%
介護支援専門員	26	35.1%	12	24.5%	38	30.9%
介護職	6	8.1%	1	2.0%	7	5.7%
社会福祉士	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%
相談員	5	6.8%	1	2.0%	6	4.9%
施設長、管理者、管理職	2	2.7%	3	6.1%	5	4.1%
地域福祉コーディネーター	0	0.0%	2	4.1%	2	1.6%
消防職	2	2.7%	0	0.0%	2	1.6%
学生	2	2.7%	0	0.0%	2	1.6%
合　　計	74	100.0%	49	100.0%	123	100.0%

（1-2）看護職研修の開催

目的：在宅医療をすすめていく上で、重要な役割を担う看護職の資質を向上することで、地域包括ケアの実現を目指す。

参加者総数：　168名（看護職など）

研修内容

日　　時	場　　所	内　　容	参加者	備考
11月14日 （木） 午後６時30分 ～８時	三重県伊賀庁舎	テーマ：看取りをコーディネートする看護職の役割をともに考えよう　～知ってだーこ・喋ってだーこ～ 内容：居宅介護支援事業所、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーションの看護職から話題提供、それを元にグループワーク、意見交換	66名 （看護職）	三重県看護協会伊賀地区支部と協働
12月5日 （木） 午後５時45分	名張市介護老人保健施設ゆりの里	テーマ：在宅医療ネットワークの構築について 講師　天理よろず相談所病院在宅世話どりセンター 次橋　幸男　氏	50名 （看護職など）	名張市立病院と共催

12月12日 （木） 午後５時45分 ～７時	名張市介護老人保健施設ゆりの里	テーマ：認定看護師スキルアップセミナー 講師　名張市立病院 認知症看護認定看護師　福田　敬乃氏 認知症看護認定看護師　前川　英子氏 緩和ケア認定看護師　田中　利恵氏 がん性疼痛看護認定看護師　加藤　いづみ氏	52名 （看護職など）	名張市立病院と共催

（１－３）テーマ研修
◇小児在宅
＊研修企画していましたが、はCOVID-19感染拡大防止のため開催中止

◇人生の最終段階におけるケア
①保健医療福祉多職種対象研修

日　時	場　所	内容	参加者	備考
６月13日 （日） 午後６時30分 ～８時30分	名張市防災センター	テーマ：人が人生を終える時期に 必要とされるケア ～トータルペインって何？ 講　師：三重大学医学部附属病院　緩和ケアセンター 助教　松原　貴子先生 （三重大学医学部附属病院　緩和ケア科副科長／緩和ケアチーム専従医師 医学博士（緩和医療学））	113名	

◆参加者数

	人 数
事業所など従事者	108
実務者会議委員	5
合　計	113

◆所属

	人数	割合
医療機関	39	34.5%
介護保険居宅サービス事業所	52	46.0%
介護保険施設サービス事業所	8	7.1%
介護保険地域密着型サービ	2	1.8%
行政機関	9	8.0%
その他	3	2.7%
合　計	113	100.0%

◆職種

	人数	割合
医師	6	5.3%
歯科医師	4	3.5%
薬剤師	7	6.2%
保健師	5	4.4%
看護師	29	25.7%
管理栄養士	1	0.9%
理学療法士	5	4.4%
作業療法士	1	0.9%
介護支援専門員	31	27.4%
相談員	3	2.7%
歯科衛生士	5	4.4%
介護職	6	5.3%
医療ソーシャルワーカー	3	2.7%
管理者	2	1.8%
消防	2	1.8%
機能訓練指導員	2	1.8%
地域福祉コーディネーター	1	0.9%
合　計	113	100.0%

②介護支援専門員、地域包括支援センター等対象研修

日　時	場　所	内容	参加者	備考
10月31日 （木） 午後２時～4時	伊賀市青山福祉センター	テーマ ☆エンド・オブ・ライフ・ケア～利用者中心の視点をもつ ① 意思決定支援　② 本人の苦しみを理解する 講師　がん看護専門看護師　中滉子氏（岡波総合病院） 老人看護専門看護師　市川智子氏（岡波総合病院）	35名	
12月12日 （木） 午後２時～4時	名張市保健センター	テーマ ☆エンド・オブ・ライフ・ケア～利用者中心の視点をもつ ① 意思決定支援　② 本人の苦しみを理解する 講師　がん看護専門看護師　中滉子氏（岡波総合病院） 老人看護専門看護師　市川智子氏（岡波総合病院）	54名	

◆参加者数

	人 数		
	10月31日	12月12日	合計
事業所など従事者	33	52	85
実務者会議委員	2	2	4
合　　計	35	54	89

◆参加回数

	実人数	割合
1回	55	76.4%
2回	17	23.6%
合計	72	100.0%

◆所属

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
護保険居宅サービス事業	27	77.1%	35	64.8%	62	69.7%
護保険施設サービス事業	2	5.7%	2	3.7%	4	4.5%
保険地域密着型サービス事	3	8.6%	5	9.3%	8	9.0%
行政機関	2	5.7%	12	22.2%	14	15.7%
その他	1	2.9%			1	1.1%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

◆所属

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険居宅サービス事業所	27	77.1%	35	64.8%	62	69.7%
介護保険施設サービス事業所	2	5.7%	2	3.7%	4	4.5%
介護保険地域密着型サービス事業所	3	8.6%	5	9.3%	8	9.0%
行政機関	2	5.7%	12	22.2%	14	15.7%
その他	1	2.9%			1	1.1%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

◆事業所所在地

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
名張市	23	65.7%	51	94.4%	74	83.1%
伊賀市	12	34.3%	3	5.6%	15	16.9%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

◆職種

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護支援専門員	33	94.3%	47	87.0%	80	89.9%
理学療法士	1	2.9%	1	1.9%	2	2.2%
地域福祉コーディネーター	1	2.9%			1	1.1%
保健師			2	3.7%	2	2.2%
社会福祉士			3	5.6%	3	3.4%
社会福祉主事			1	1.9%	1	1.1%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

（2）地域課題抽出、課題解決のための取組み

・地域包括支援センターや関係機関との打合せを通じて、地域の情報を共有したが課題共有まで至っていない。

・在宅医療に関する実態調査（介護支援専門員調査）を実施した
調査用紙配付数　133　　回収数　　104　　回収率　78.2%
集計結果は別添資料のとおり

（3）二次医療圏での地域課題の共有と課題解決のための検討

・昨年度から伊賀保健所職員を実務者会議構成員として加わって頂き、情報提供いただいているが課題共有まで至っていない。

・実務者会議に伊賀市内の３病院の地域連携担当者がオブザーバーとして出席いただき、必要に応じて情報提供いただいているが、課題共有までいたらなかった。

（4）関係機関との連携～会議等への出席

会議など名称	出席回数	開催場所	主催など
認知症初期集中支援チーム会議	9回	上野病院	名張市地域包括支援センター
認知症初期集中支援チームサブチーム会議	12回	名張市役所	名張市地域包括支援センター
地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議	2回	ゆめポリスセンター（伊賀市）	伊賀歯科医師会
グループホームひかり運営会議	6回	育成園	名張育成園
セントケア豊後町運営推進会議	4回	セントケア豊後町	セントケア豊後町
主任介護支援専門員会議	1回	防災センター	名張市地域包括支援センター
名張市訪問看護ステーション連絡会	1回	武道交流館いきいき	名張市訪問看護ステーション連絡会

（5）ケースカンファレンス等への出席

出席回数	１５回
ケース実件数	１４件

・ケース概要

疾病など	実件数	備　　考
介護保険対象	13	名張市立病院訪問診療ケース９件
小児科領域（先天性疾患など）	1	
合　　計	14	

３．　在宅医療推進のための環境づくり

（１）名張市立病院と在宅主治医との連携

在宅医療救急システムの推進

登録者数　　124名（令和２年3月31日　現在）

登録医療機関　８か所

登録者居所

		登録数	割合
自　　宅		40	32.3%
自宅以外	認知症対応型グループホーム	19	15.3%
	有料老人ホーム	54	43.5%
	サービス付き高齢者向け住宅	11	8.9%
	上記以外	0	0.0%
合計		124	100.0%

令和元年度利用実績（3月末現在）

	時間外救急		時間内救急	合計
	輪番日	非輪番日		
入院	10	5	16	31
外来	4	0	1	5

（２）歯科医師会及び薬剤師会との連携

・歯科医師と医師等との実務者会議等での在宅医療に関する情報交換
・多職種連携研修への参加要請
・相談支援での連携、調整
・在宅主治医への医材料供給システムの情報提供

４．　市民への情報提供、啓発および協働

（１）市民啓発講演会等の開催

（1-1）まちじゅう元気‼在宅医療入門講座

在宅医療・介護の連携が円滑に進んでいくためには、関係機関の連携だけでなく、患者、家族が在宅医療や介護福祉について理解していることが必要です。関係機関がお互いの役割や機能を理解するとともに、市民一人ひとりが、医療介護福祉について知識を得ることや理解を深めることも必要です。そのための機会とするために、「まちじゅう元気‼在宅医療入門講座」を開催した。

延べ人数：　　82名

	場　　所	内　　容	参加者
8月30日 （金） 13：30～ 15：00	名張市保健センター	・かかりつけ医をもとう！ ・市民（患者）と医師とのよい関係づくり 講師　橋本胃腸科内科　橋本修嗣先生	29名
9月11日 （水） 13：30～ 15：00	名張市保健センター	・かかりつけ歯科医をもとう！ ・口腔ケアの基礎知識 講師　伊賀歯科医師会　平井　吾一先生 名張・伊賀歯科衛生士会　野木　和子先生	21名
10月10日 （木） 13：30～ 15：00	名張市保健センター	・かかりつけ薬剤師・薬局をもとう！ ・お薬の基礎知識 講師　伊賀薬剤師会　村上　博之先生	17名
10月11日 （金） 13：30～ 15：30	名張市保健センター	・移動介助のコツを知ろう！ ・自分らしく暮らすための制度を知ろう！ ・講座のふりかえり 講師　名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会　川本　猛先生 松村　昭彦先生 名張市福祉子ども部地域包括支援センター　柴垣　維乃氏	15名

		8月30日	9月11日	10月10日	10月11日	合　計
		人数	人数	人数	人数	人数
市　民	男	8	7	6	6	27
	女	13	12	9	9	43
	計	21	19	15	15	70
関係機関職員等	男	0	2	1	0	3
	女	8	0	1	0	9
	計	8	2	2	0	12
合　　計	男	8	9	7	6	30
	女	21	12	10	9	52
	計	29	21	17	15	82

（1-2）健康・医療介護福祉フェスタ2018
従来から開催されていた「健康フェスタ」と共同開催した。また「とれたて名張」と同時開催した。
日　時　　令和元年11月10日（日曜日）午前9時30分　～午後3時30分
場　所　　名張市役所、防災センター
テーマ　　「健康づくり、在宅医療・ケアを学ぼう」
内　容　　特別講演
「やりたいことをやり続けるために～市民が地域を創る～」
講　師：
四国医療産業研究所　所長　　日本医師会総合政策研究機構　　客員研究員
櫃本真聿（ひつもと　しんいち）　先生
よくバリ青春体操実技指導、展示、相談等

参加者数　　800名
・高齢者サロン等での啓発
市民からの要請に応じて、高齢者サロン等で在宅医療について啓発した。

（2）民生委員児童委員との連携
・必要に応じて民生委員児童委員さんと連携した。

（3）医療資源の情報収集及び市民への提供
・「医療・介護福祉ガイドブック、マップ」を関係機関に追加配付した。

5.　その他
（1）名賀医師会　在宅医療支援センターの取組み、活動の外部への発信
「平成31年度名張市在宅医療支援センター運営報告（平成30年度実績）」を作成し、関係機関に配布した。

（2）名賀医師会事業との協働
・『よくバリ青春体操』のリーフレット、ポスターを関係機関に追加配布するとともに、DVD、負荷用ウエイトを貸し出した。

（3）研修会への参加

時期	内　　容	開催場所	参加者
令和元年 7月14日（日）・15日（月・祝）	第1回日本在宅医療連合学会大会	京王プラザ（東京都新宿区）	実務者会議委員4名・北森
8月25日（日）	患者の意向を尊重した意思決定のための研修会	三重大学医学部（津市）	実務者会議委員3名・北森
12月7日（土）・8日（日）	日本緩和医療学会東海北陸支部学術大会	三重大学医学部（津市）	実務者会議委員2名・北森
12月9日（月）	上野病院連携型認知症疾患医療センター研修会	ゆめぽりすセンター（伊賀市）	北森

令和元年度多職種連携研修実績(名張市)

Ⅰ． 参加者の状況

1 総数

	1月30日
	人 数
事業所など従事者	67
実務者会議委員	7
合　　計	74

2 所　属

	1月30日	
	人数	割合
医療機関	19	25.7%
介護保険居宅サービス事業所	22	29.7%
介護保険施設サービス事業所	12	16.2%
〃　地域密着型サービス事業所	4	5.4%
障害福祉サービス事業所	0	0.0%
行政機関	10	13.5%
その他	7	9.5%
合　　計	74	100.0%

3 職　　種

	1月30日	
	人数	割合
医師	4	5.4%
歯科医師	3	4.1%
薬剤師	5	6.8%
保健師	5	6.8%
看護師	7	9.5%
歯科衛生士	2	2.7%
理学療法士	1	1.4%
管理栄養士	1	1.4%
機能訓練指導員	1	1.4%
医療ソーシャルワーカー	2	2.7%
介護支援専門員	26	35.1%
相談員	5	6.8%
介護員・支援員	6	8.1%
相談支援専門員	0	0.0%
施設長・管理者	2	2.7%
心理士	0	0.0%
消防職	2	2.7%
事務	0	0.0%
学生	2	2.7%
合　　計	74	100.0%

Ⅱ． アンケート結果

回収状況

1月30日	
回収数	回収率
65	87.8%

1　本日の企画に参加しての満足度

	1月30日	
	回答数	割合
満足	45	69.2%
どちらかといえば満足	20	30.8%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合　計	65	100.0%

2　本日参加して、自分の仕事に役立つと感じましたか？

	1月30日	
	回答数	割合
役立つと感じた	52	80.0%
どちらかといえば感じる	11	16.9%
どちらかといえば感じない	2	3.1%
感じない	0	0.0%
合　計	65	100.0%

3　本日の事例検討は分かりやすかったですか？

	1月30日	
	回答数	割合
分かりやすかった	52	80.0%
どちらかといえば分かりやすかった	13	20.0%
どちらかといえば分かりにくかった	0	0.0%
分かりにくかった	0	0.0%
合計	65	100.0%

令和元年度度青山地区多職種連携研修実績（2月8日）

Ⅰ．参加者の状況

1 総数

	青山地区研修
	人 数
事業所など従事者	47
実務者会議委員	2
合　　計	49

2 所　属

	青山地区研修		再々掲	
	人数	割合	伊賀市	青山地区
医療機関	7	14.3%	6	5
介護保険居宅サービス事業所	15	30.6%	15	15
介護保険施設サービス事業所	1	2.0%	1	1
民生委員児童委員	18	36.7%	18	18
社会福祉協議会	2	4.1%	2	2
行政機関	5	10.2%	5	4
その他	1	2.0%	1	0
合　　計	49	100.0%	48	45

3 職　　種

	青山地区研修	
	人数	割合
医師	1	2.0%
歯科医師	1	2.0%
薬剤師	3	6.1%
民生委員・児童委員	18	36.7%
看護師	3	6.1%
歯科衛生士	2	4.1%
理学療法士	1	2.0%
介護支援専門員	12	24.5%
介護職	1	2.0%
社会福祉士	1	2.0%
相談員	1	2.0%
施設長、管理者、管理職	3	6.1%
地域福祉コーディネーター	2	4.1%
合　　計	49	100.0%

Ⅱ．アンケート結果

回収状況

回収数	回収率
42	85.7%

1　本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	29	69.0%
どちらかといえば満足	13	31.0%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合　計	42	100.0%

2　本日参加して、自分のできることがわかったと感じましたか？

	回答数	割合
分かったと感じる	18	42.9%
どちらかといえば感じる	24	57.1%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
合　計	42	100.0%

3　本日参加して、多職種の連携ができていくと感じましたか？

	回答数	割合
できていくと感じる	26	61.9%
どちらかといえば感じる	15	35.7%
どちらかといえば感じない	1	2.4%
感じない	0	0.0%
合計	42	100.0%

エンドオブライフケア研修実績

エンド・オブ・ライフ・ケア研修（令和元年６月13日）

Ⅰ． 参加者の状況

1 総数

	人 数
事業所など従事者	108
実務者会議委員	5
合　　計	113

2 所　属

	人数	割合
医療機関	39	34.5%
介護保険居宅サービス事業所	52	46.0%
介護保険施設サービス事業所	8	7.1%
介護保険地域密着型サービス事業所	2	1.8%
行政機関	9	8.0%
その他	3	2.7%
合　　計	113	100.0%

3 職　　種

	人数	割合
医師	6	5.3%
歯科医師	4	3.5%
薬剤師	7	6.2%
保健師	5	4.4%
看護師	29	25.7%
管理栄養士	1	0.9%
理学療法士	5	4.4%
作業療法士	1	0.9%
介護支援専門員	31	27.4%
相談員	3	2.7%
歯科衛生士	5	4.4%
介護職	6	5.3%
医療ソーシャルワーカー	3	2.7%
管理者	2	1.8%
消防	2	1.8%
機能訓練指導員	2	1.8%
地域福祉コーディネーター	1	0.9%
合　　計	113	100.0%

Ⅱ． アンケート結果

回収状況

回収数	回収率
105	92.9%

1 本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	86	81.9%
どちらかといえば満足	16	15.2%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	3	2.9%
合　計	105	100.0%

2　本日参加して、自分の仕事に役立つと感じました

	回答数	割合
役立つと感じた	94	89.5%
どちらかといえば感じる	10	9.5%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
無回答	1	1.0%
合　計	105	100.0%

3　本日の研修は分かり易かったですか？

	回答数	割合
分かり易かった	94	89.5%
どちらかといえば分かり易かった	8	7.6%
どちらかといえば分かりにくかった	2	1.9%
分かりにくかった	0	0.0%
無回答	1	1.0%
合計	105	100.0%

エンドオブライフケア研修実績（10月31日・12月12日）

Ⅰ参加者の状況

1 総　数

	人 数		
	10月31日	12月12日	合計
事業所など従事者	33	52	85
実務者会議委員	2	2	4
合　　計	35	54	89

2 参加回数

	実人数	割合
1回	55	76.4%
2回	17	23.6%
合計	72	100.0%

3 所　属

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険居宅サービス事業所	27	77.1%	35	64.8%	62	69.7%
介護保険施設サービス事業所	2	5.7%	2	3.7%	4	4.5%
介護保険地域密着型サービス事業所	3	8.6%	5	9.3%	8	9.0%
行政機関	2	5.7%	12	22.2%	14	15.7%
その他	1	2.9%			1	1.1%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

4 事業所所在地

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
名張市	23	65.7%	51	94.4%	74	83.1%
伊賀市	12	34.3%	3	5.6%	15	16.9%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

5 職　　種

	10月31日		12月12日		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護支援専門員	33	94.3%	47	87.0%	80	89.9%
理学療法士	1	2.9%	1	1.9%	2	2.2%
地域福祉コーディネーター	1	2.9%			1	1.1%
保健師			2	3.7%	2	2.2%
社会福祉士			3	5.6%	3	3.4%
社会福祉主事			1	1.9%	1	1.1%
合　　計	35	100.0%	54	100.0%	89	100.0%

エンドオブライフケア研修実績（10月31日・12月12日）

アンケート結果

回収状況

10月31日		12月12日	
回収数	回収率	回収数	回収率
34	97.1%	53	98.1%

1 本日の企画に参加しての満足度

	10月31日		12月12日	
	回答数	割合	回答数	割合
満足	22	64.7%	44	83.0%
どちらかといえば満足	9	26.5%	8	15.1%
どちらかといえば不満	0	0.0%	0	0.0%
不満	0	0.0%		
無回答	3	8.8%	1	1.9%
合　計	34	100.0%	53	100.0%

2　本日参加して、自分の仕事に役立つと感じましたか？

	10月31日		12月12日	
	回答数	割合	回答数	割合
役立つと感じた	28	82.4%	46	86.8%
どちらかといえば感じる	6	17.6%	5	9.4%
どちらかといえば感じない				
感じない				
無回答			2	3.8%
合　計	34	100.0%	53	100.0%

3 本日の研修は分かり易かったですか？

	10月31日		12月12日	
	回答数	割合	回答数	割合
分かり易かった	19	55.9%	39	73.6%
どちらかといえば分かり易かっ	14	41.2%	12	22.6%
どちらかといえば分かりにくかった	1	2.9%	2	3.8%
合計	34	100.0%	53	100.0%

令和元年度　まちじゅう元気‼在宅医療入門講座実績

Ⅰ．参加者状況

		8月30日	9月11日	10月10日	10月11日	合　計
		人数	人数	人数	人数	人数
市　民	男	8	7	6	6	27
	女	13	12	9	9	43
	計	21	19	15	15	70
関係機関職員等	男	0	2	1	0	3
	女	8	0	1	0	9
	計	8	2	2	0	12
合　　計	男	8	9	7	6	30
	女	21	12	10	9	52
	計	29	21	17	15	82

市民の回数別参加状況

	人数	割合
1回参加	4	16.7%
2回参加	3	12.5%
3回参加	7	29.2%
4回参加	10	41.7%
合　計	24	100.0%

Ⅱ．アンケート結果

◆　8月30日（かかりつけ医をもとう）

◎回収状況

回収数	回収率
28	96.6%

1.本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	19	67.9%
どちらかといえば満足	6	21.4%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無記入	3	10.7%
合　計	28	100.0%

2.これからの生活に役立つと感じましたか？

	回答数	割合
役立つと感じた	22	78.6%
どちらかといえば感じた	5	17.9%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
無記入	1	3.6%
合　計	28	100.0%

3.かかりつけ医師はいますか？

	回答数	割合
いる	20	71.4%
いない	8	28.6%
合　計	28	100.0%

◆　９月11日（かかりつけ歯科医をもとう）

◎回収状況

回収数	回収率
19	90.5%

1.本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	14	73.7%
どちらかといえば満足	3	15.8%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無記入	2	10.5%
合　計	19	100.0%

2.これからの生活に役立つと感じましたか？

	回答数	割合
役立つと感じた	15	78.9%
どちらかといえば感じた	3	15.8%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
無記入	1	5.3%
合　計	19	100.0%

3.かかりつけ歯科はありますか？

	回答数	割合
いる	17	89.5%
いない	2	10.5%
合　計	19	100.0%

◆　10月10日（かかりつけ薬剤師・薬局をもとう）

◎回収状況

回収数	回収率
16	94.1%

1.本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	13	81.3%
どちらかといえば満足	3	18.8%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合　計		100.0%

2.これからの生活に役立つと感じましたか？

	回答数	割合
役立つと感じた	15	93.8%
どちらかといえば感じた	1	6.3%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
合　計	16	100.0%

3.かかりつけ薬局（薬剤師）はありますか？

	回答数	割合
いる	8	50.0%
いない	8	50.0%
合　計	16	100.0%

◆　10月11日（移動介助のコツを知ろう。制度を知ろう）

◎回収状況

回収数	回収率
15	100.0%

1.本日の企画に参加しての満足度

	回答数	割合
満足	11	73.3%
どちらかといえば満足	3	20.0%
どちらかといえば不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無記入	1	6.7%
合　計	15	100.0%

2.これからの生活に役立つと感じましたか？

	回答数	割合
役立つと感じた	12	80.0%
どちらかといえば感じた	1	6.7%
どちらかといえば感じない	0	0.0%
感じない	0	0.0%
無記入	2	13.3%
合　計	15	100.0%

主催：名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

生活圏域多職種連携研修（ケース検討会）

住み慣れたまちで暮らし続けられるよう～
ケース検討を通じて、*【顔】のみえる関係づくり⇒⇒⇒*
【はらのうち】が分かり合える関係づくり、地域づくり
をしませんか。

◇対　象　　**対象地区の医療保険福祉関係職員、行政機関職員等**

◇テーマ　　**『いつでも、どこでも多職種連携』**

◇内　容　　**マインドマップ～見える事例検討**

◇日時・場所

	1・2・3生活圏域	4・5 生活圏域
日　時	令和2年1月 30 日（木） 午後6時半～8時半	令和2年2月 20 日（木） 午後6時半～8時半
場　所	名張市防災センター2 階研修室	
対象地区	名張、鴻之台希央台、蔵持、梅が丘、 薦原、美旗、桔梗が丘	つつじが丘、国津、比奈知、すずらん台、 錦生、赤目、箕曲、百合が丘
事　例	老人ホームで暮らす人への支援	病院から在宅移行する人への支援
コーディネーター	名張市立病院地域医療教育研修センター長、橋本胃腸科内科院長　橋本　修嗣先生 名張市立病院　総合診療科教育研修担当部長　近藤　誠吾先生	

◇参加申込み　　**裏面様式にて開催日の 10 日前までに申し込んでください。**

◇問合せ　　**名張市在宅医療支援センター　電話　0595-48-7840**

名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

生活圏域多職種連携研修(ケース検討会)

◇日　時　　令和２年１月30日（木）18：30～20：30
◇場　所　　名張市防災センター
◇テーマ　　『いつでも、どこでも多職種連携』
◇ファシリテーター
　名張市立病院地域医療教育研修センター長、橋本胃腸科内科院長　橋本　修嗣先生
　名張市立病院　総合診療科教育研修担当部長　近藤　誠吾先生

【タイムスケジュール】

18：30　　あいさつ
18：35～18：45　オリエンテーション
18：55～20：10　「見える事例検討会」
事例提供：名張養護老人ホーム　みさと園　施設長　萩森　真里子さん
主任看護師　松岡　道人さん
副主任　生活相談員　吉岡　洋さん

20：10～20：25　ふりかえり、まとめ

20：25～　　アンケート記入
20：30　　終了

名賀医師会　名張市在宅医療支援センター、伊賀市社会福祉協議会　共催

青山地区多職種連携研修（ケース検討会）

住み慣れたまちで暮らし続けられるよう～

ケース検討を通じて、*【顔】のみえる関係づくり⇒⇒⇒*

【はらのうち】が分かり合える関係づくり、地域づくりをしませんか。

◇日　時　　令和2年2月8日（土）午後2時から4時

◇場　所　　伊賀市青山福祉センター研修室

◇対　象　　伊賀市青山地区の民生委員児童委員、
医療保健福祉関係職員、行政機関職員等

◇テーマ　　『複合的な支援が必要な事例』への多職種連携

◇内　容　　未来志向型ケース検討、グループ討議

◇コーディネーター　　伊賀市地域包括支援センター南部サテライト

◆申込み先　名張市在宅医療支援センター　宛　　fax　48-7841

申込み締切：１月 31 日（金）午後５時（厳守）

法人名等【　　】

出席者氏名	職　種	事　業　所　名	電話番号	備考

（問合せ先）名張市在宅医療支援センター　　電話　0595-48-7840

名賀医師会　名張市在宅医療支援センター、伊賀市社会福祉協議会　共催

青山地区多職種連携研修（ケース検討会）

◇日　時　　令和２年２月８日（土）14：00～16：00
◇場　所　　伊賀市青山福祉センター研修室
◇テーマ　　『好きなようにさせてほしい！』92 歳女性への多職種連携
◇コーディネーター　　伊賀市地域包括支援センター　南部サテライト
　　保健師　山田　順恵氏

◇【タイムスケジュール】

14：00　　挨拶

14：05～14：15　　オリエンテーション

14：15～15：00　　事例紹介
　伊賀市社会福祉協議会　ケアプランセンター南部
　介護支援専門員　直木　桃子氏

15：00～15：30　　グループワーク

15：30～15：55　　グループ発表・全体共有

15：55～　　アンケート記入
16：00　　終了

主催：名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

エンド・オブ・ライフ・ケア研修

人が人生を終える時期に
必要とされるケアとは、
「トータルペイン」って何？
みんなで、共有しましょう！

◇日　時　令和元年6月13日(木)　午後6時半～8時半

◇場　所　名張市防災センター2階研修室

◇対　象　医療保健福祉関係職員、行政機関職員

◇テーマ

エンドオブライフにおけるトータルペインの理解とケア

◇講　師　三重大学医学部附属病院
緩和ケアセンター　助教　松原　貴子先生
（三重大学医学部附属病院　緩和ケア科副科長／緩和ケアチーム専従医師
医学博士（緩和医療学））

◇内　容　講義とグループワーク

◇参加申込　6月4日(火曜日)までに裏面様式にて
申し込んでください。

◇問合せ　名張市在宅医療支援センター
☎0595-48-7840

名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

エンド・オブ・ライフ・ケア研修

◇日　時　　令和元年６月 13 日（木）　　18：30～20：30
◇場　所　　名張市防災センター2 階研修室

講　師　　三重大学医学部附属病院　緩和ケアセンター　助教　松原　貴子先生

（三重大学医学部附属病院　緩和ケア科副科長／緩和ケアチーム専従医師
医学博士（緩和医療学））

◇タイムスケジュール

18：30～　　オリエンテーション

講義１

事例検討

講義２

20：25～　　アンケート記入

お疲れさまでした。ご記入いただいたアンケート、名札をロビー回収箱に入れてお帰り下さい。

今後とも本人の願い、望みや選択への支援ができるよう、活動しますので、
よろしくお願いいたします。

主催：名賀医師会　名張市在宅医療支援センター　　協力：伊賀市社会福祉協議会

エンド・オブ・ライフ・ケア研修（介護支援専門員等研修）

人が人生を終える時期（とき）に
本人中心のケアとは？「痛み」って身体だけ？
一緒に考えてみませんか！

1.　テーマ・内容

エンド・オブ・ライフ・ケア～利用者本人中心の視点をもつ

① 意思決定支援　　②本人の苦しみを理解する

2.　研修形式など：講義とワーク

3.　日時、場所

時　　期	時　間	場　　所 ＊
10月31日(木)	午後2時	青山福祉センター
12月12日(木)	から4時	名張市保健センター

＊内容が異なりますので、なるべく2回ともご参加ください。

4.　講　師：がん看護専門看護師　中　　滉子氏

老人看護専門看護師　市川　智子氏

5.　対象者：

名張市及び伊賀市青山地域の介護支援専門員、相談支援専門員等

6.　参加申込：

10月23日（水曜日）までに裏面様式でお申し込みください。

◇問合せ　　名張市在宅医療支援センター

電話　0595-48-7840

＊駐車場が狭隘のため、乗合わせてお越しください。

エンド・オブ・ライフ・ケア研修

日　時：令和元年 10 月 31 日（木曜日）
午後２時から
場　所：伊賀市青山福祉センター

テーマ　　☆エンド・オブ・ライフ・ケア～利用者中心の視点をもつ

① 意思決定支援　　②　本人の苦しみを理解する

講　師　　がん看護専門看護師　中　　滉子氏　（岡波総合病院）

老人看護専門看護師　市川　智子氏　（岡波総合病院）

◇タイムスケジュール

14：00～　　オリエンテーション
14：05～14：35　　講　義　　「高齢者の意思決定支援」
講　師　　老人看護専門看護師　市川　智子氏　（岡波総合病院）

14：35～15：40　　ワーク
講　師　　がん看護専門看護師　中　　滉子氏　（岡波総合病院）
老人看護専門看護師　市川　智子氏　（岡波総合病院）

15：40～16：00　　質疑応答　　まとめ

アンケート記入
終了

次回：12 月 12 日（木）午後 2 時から 4 時まで　　場所　名張市保健センター

☆駐車場が狭隘のため、
乗り合わせてお越しください。

エンド・オブ・ライフ・ケア研修

日　時：令和元年 12 月 12 日（木曜日）
午後２時から
場　所：名張市保健センター

テーマ　　☆エンド・オブ・ライフ・ケア～利用者中心の視点をもつ

① 意思決定支援　　②　本人の苦しみを理解する

講　師　　がん看護専門看護師　中　　滉子氏　（岡波総合病院）

老人看護専門看護師　市川　智子氏　（岡波総合病院）

◇タイムスケジュール

14：00～　　オリエンテーション
14：05～14：35　　講　義　　「苦しみを理解し、ケアするとは」
講　師　　がん看護専門看護師　中　　滉子氏　（岡波総合病院）

14：35～15：40　　ワーク
講　師　　がん看護専門看護師　中　　滉子氏　（岡波総合病院）
老人看護専門看護師　市川　智子氏　（岡波総合病院）

15：40～16：00　　質疑応答　　まとめ

連絡事項
アンケート記入
終了

＊介護支援専門員さんにお願いしています*調査について、まだの方は年末までに*
よろしくお願いいたします。
＊裏面に１月以降の研修予定を掲載しています。

名張の在宅医療の推進をはかるための
在宅医療を担う医療従事者の研修会

スキルアップセミナー

～在宅医療ネットワークの構築について～

2019.12.5 木

受付：17:30～
講演：17:45 ▶19:15

●場　所：名張市介護老人保健施設ゆりの里　多目的ホール　　●参加費：無料
●対　象：名張市立病院職員および市内医療機関・介護施設職員
●共　催：名張市立病院　地域医療教育研修センター・名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

昨今の我が国の医療を取り巻く社会情勢は、平均寿命の延伸や少子化による人口構造の高齢化や、共働き世帯の増加や個人のライフスタイルの変化による核家族化といった要因が重なり、急速に変化しています。

こういった状況の中で、在宅医療・介護の重要性は、今後ますます高まっていくことが予想されます。

名張市では、「在宅医療支援センター」の開設により、病院から在宅へ切れ目のない包括的ケア体制を整備しており、名張市立病院においても「在宅医療救急システム」の開始により、在宅主治医を支援する体制を整えてきました。

一方で、二次救急病院である名張市立病院では、実際に訪問診療や訪問看護に従事する者は限られており、在宅医療の最前線に立たれる先生のお話を伺うことは、職員のスキルアップに繋がるものと考えられます。また、地域の医療・介護関係者の皆さまにとっても、またとない機会となりますので、是非ご参加ください。

講　演　『在宅医療ネットワークの構築について』

講師：次橋　幸男　先生（天理よろづ相談所病院　在宅世話どりセンター）

お問い合わせ
名張市在宅医療支援センター／名張市立病院医事経営室
TEL:（0595）48-7840　　TEL:（0595）61-1100

参加を希望される方は、各病院・施設にお配りしている参加申込書を
名張市立病院　医事経営室まで FAX（0595-64-7999）してください。

名　張　市　立　病　院

共催：名張市立病院　地域医療教育研修センター・名賀医師会　名張市在宅医療支援センター

認定看護師スキルアップセミナー

令和元年12月12日（木）17:45～19:00

場所：ゆりの里　多目的ホール（名張市立病院 横）

第１部　認知症ケアの基本
～認知症の人とケアする人たちが共に
楽になるケアをしませんか～

講師：福田　敬乃　氏（名張市立病院　認知症看護認定看護師）

第２部　院内デイケアを開催してみて
～今後の展望と課題～

講師：前川　英子　氏（名張市立病院　認知症看護認定看護師）

第３部　多職種チーム医療で実践する緩和ケアを目指して

講師：田中　利恵　氏（名張市立病院　緩和ケア認定看護師）

第４部　自分らしい「生き方」と「逝き方」を支援するために
～アドバンス・ケア・プランニング（ACP）～

講師：加藤　いづみ　氏（名張市立病院　がん性疼痛看護認定看護師）

お申込み締切：令和元年12月11日（水）　FAX：0595-64-7999

医療機関名　・　介護施設名	職　　種	氏　　名

お問い合わせ先：
名張市立病院　事務局　後藤　外線：0595-61-1100（内線2157）

まちじゅう元気!!

令和元年度

在宅医療入門講座

いつまでも自分らしく暮らすために、

在宅医療・ケアを学びましょう！

	日　　時	講義テーマなど	講　　師
1	8月30日（金） 13：30～15：00	・かかりつけ医をもとう！ ・市民（患者）と医師とのよい関係づくり	名賀医師会
2	9月11日（水） 13：30～15：00	・かかりつけ歯科医をもとう！ ・口腔ケアの基礎知識	伊賀歯科医師会 名張・伊賀歯科衛生士会
3	10月10日 （木） 13：30～15：00	・かかりつけ薬剤師・薬局をもとう！ ・お薬の基礎知識	伊賀薬剤師会
4	10月11日 （金） 13：30～15：30	・移動介助のコツを知ろう！ ・自分らしく暮らすための制度を知ろう！ ・講座のふりかえり ・修了証授与	名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会 名張市福祉子ども部

場　所　：名張市保健センター

＊3回以上出席の方に修了証を授与

（申込・問合せ）

名張市在宅医療支援センター

電話　0595-48-7840

時間：月～金曜日　9：00～17：00

健康・医療介護福祉フェスタ2019

健康づくり、在宅医療・ケアを学ぼう

2019年11月10日（日）9:30～15:30

名張市役所/名張市防災センター

名張市役所

9:30～12:00

- 医療相談　・無料歯科健診
- お薬相談　・もの忘れチェック
- 血流、体組成測定
- 高齢者、障がい者模擬体験など

名張市防災センター

先着200名様粗品進呈

名張ケンコー！マイレージ ポイント対象イベント

13:00～　スポーツ・健康優良者表彰式

13:45～　よくバリ青春体操

14:00～　**特別講演**

「やりたいことをやり続けるために ～市民が地域を創る～」

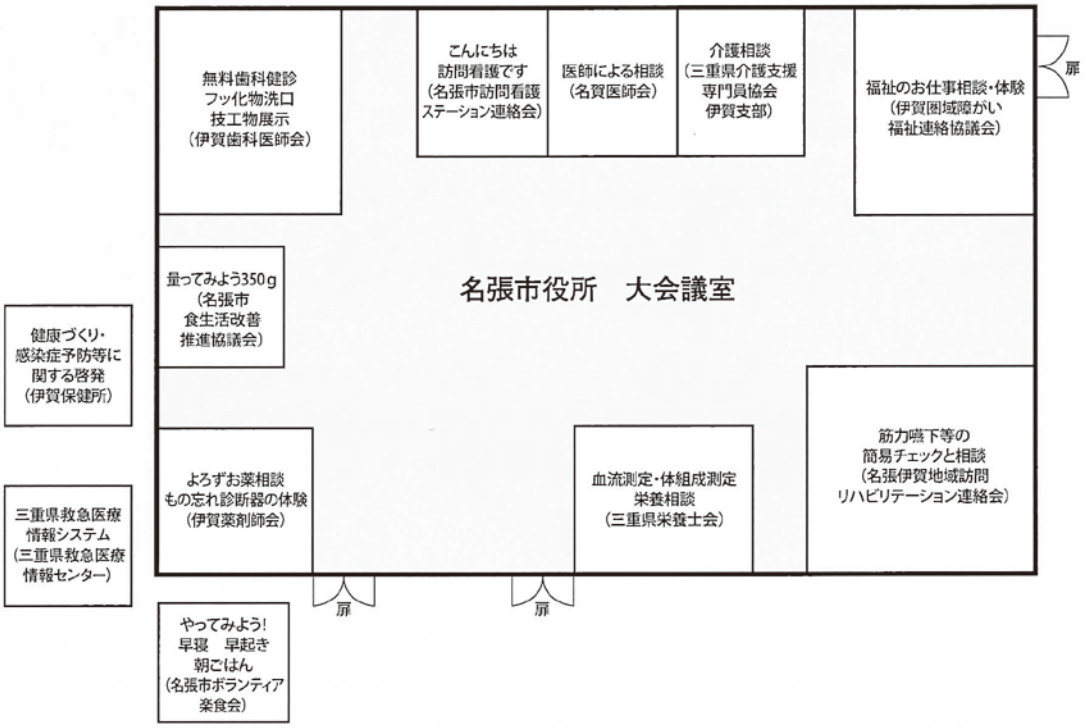
【講師】
四国医療産業研究所 所長
日本医師会総合政策研究機構 客員研究員
櫃本 真聿（ひつもと しんいち）先生

【プロフィール】 1979年愛媛大学医学部卒の医学博士。同大学助手後、愛媛県内の保健所長、県保健福祉部健康増進課長など行政職を経て再び大学に戻り、「愛媛大学病院総合診療サポートセンター」を立ち上げた。2017年大学病院を早期退職し、日本公衆衛生学会認定専門家として日本医師会総合政策研究機構客員研究員および、日医総研や三重県、滋賀県等の医療介護及び行政関連のアドバイザーも務めている。

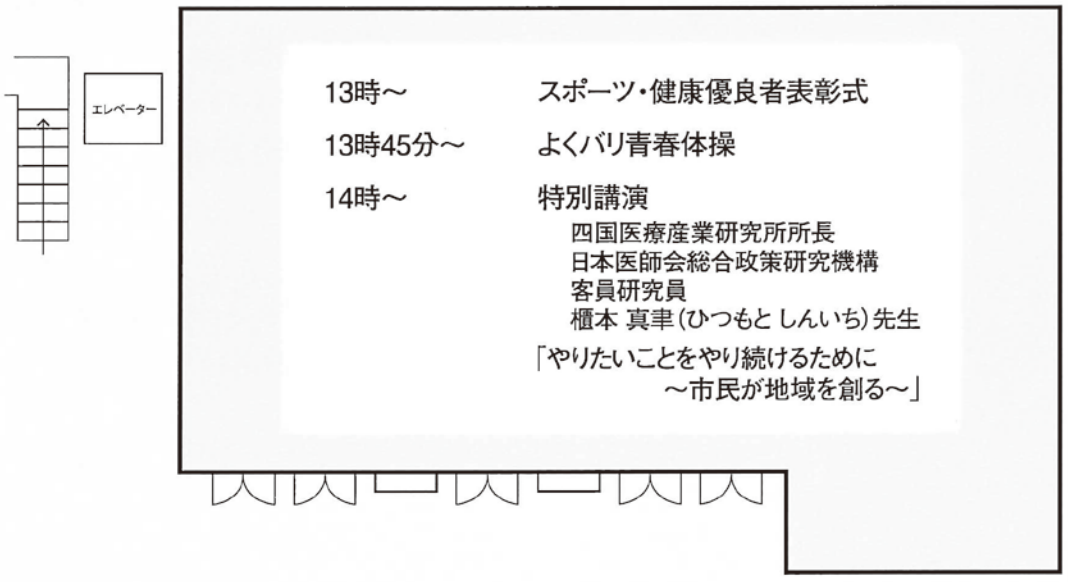
■主　催：健康・医療介護福祉フェスタ運営委員会、名張市、名賀医師会、伊賀歯科医師会
■協　力：伊賀薬剤師会、名張市訪問看護ステーション連絡会、名張・伊賀歯科衛生士会、中勢地区歯科技工士会、名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会、伊賀圏域障がい福祉連絡協議会、三重県介護支援専門員協会伊賀支部、三重県救急医療情報センター、名張市食生活改善推進協議会、名張市ボランティア楽食会、伊賀保健所、三重県栄養士会
■問合せ：名張市地域包括支援センター ☎63-7833　　名張市健康・子育て支援室 ☎63-6970
名張市在宅医療支援センター ☎48-7840

健康・医療介護福祉フェスタ
2019年11月10日㊐ 9時30分～15時30分

名張市役所 1階 大会議室　9時30分～12時



名張市防災センター 2階 研修室　13時～15時30分



タイムスケジュール

9:30～12:00　展示・相談コーナー・各コーナー催し（名張市役所大会議室）
13:00～13:40　スポーツ・健康優良者表彰式（防災センター2階 研修室）
13:45～13:55　よくバリ青春体操（防災センター2階 研修室）
14:00～15:30　特別講演会（防災センター2階 研修室）

とれたて!なばり2019年11月9日㊏・10日㊐開催 ※雨天決行

健康・医療介護福祉フェスタ 2019

健康づくり、在宅医療・ケアを学ぼう！

～生まれ育ったまち、住み慣れたまちで暮らし続けるために

日時：令和元年 11 月 10 日（日）

◆防災センター研修室　イベントプログラム

１３：４５～　よくバリ青春体操　実技指導

講　師：名張市在宅支援実務者会議委員　　川本　猛　先生
　　名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会のみなさん
協　力：まちじゅう元気リーダーのみなさん

１４：００～１５：３０

特別講演

「やりたいことをやり続けるために～市民が地域を創る～」

講　師：四国医療産業研究所　所長
　　日本医師会総合政策研究機構　　客員研究員
　　櫃本真聿（ひつもと　しんいち）　先生
座　長：一般社団法人　名賀医師会　会長　東　明彦

櫃本真聿（ひつもと　しんいち）先生　プロフィール

1954 年大阪市生まれ。1979 年愛媛大学医学部（第一期生）卒の医学博士。同大学助手後、愛媛県内の保健所長、県保健福祉部健康増進課長など行政職を経て再び大学に戻り、「愛媛大学病院総合診療サポートセンター」を立ち上げる。2017 年大学病院を早期退職し、日本公衆衛生学会認定専門家として、地域包括ケア時代を活き抜く地域づくりを推進するために、日本医師会総合政策研究機構客員研究員および、日医総研や三重県・滋賀県をはじめとする全国の医療介護及び行政関連のアドバイザーも務めながら、講演やコンサルタント業務で全国行脚の日々を送っている。

《主催》　健康・医療介護福祉フェスタ運営委員会、名張市、
一般社団法人名賀医師会、一般社団法人伊賀歯科医師会

《協力》　一般社団法人　伊賀薬剤師会、名張市訪問看護ステーション連絡会、名張・伊賀歯科衛生士会、中勢地区歯科技工士会、名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会、伊賀圏域障がい福祉連絡協議会、三重県介護支援専門員協会伊賀支部、三重県救急医療情報センター、名張市食生活改善推進協議会、名張市ボランティア楽食会、伊賀保健所、三重県栄養士会

日本緩和医療学会東海北陸支部学術大会　活動報告　20191208　口頭発表

多種連携研修ですすめる包括的なケアネットワークづくりへの取組み

北森　祥子[1)]、東　明彦[2)]、黒田　幹人[2)]、上坂　太祐[2)]、橋本　修嗣[2) 3)]

1) 名賀医師会　名張市在宅医療支援センター　2) 名賀医師会　3) 名張市立病院 地域医療教育研修センター

【目的】人口当たりの医師数、病床数が少ない名張市は、今後の超高齢化に対応するため、名張市在宅医療支援センターを整備し名賀医師会が運営を受託する形で、平成 23 年 4 月にセンターを開所した。医療資源の少ない地域で医療福祉保健関係者の「人」の力を引き出し、ネットワークをつくることで、地域包括ケアの充実をめざしている。平成 26 年度から、医療保健福祉関係者を対象に研修会や事例検討会の開催等に取り組んできたので報告する。
【方法】顔のみえる関係づくりをめざしワールドカフェ方式による研修会、コーチングによるコミュニケーションアップ研修や事例検討会を毎年開催してきた。また平成 28 年度、29 年度には医療関係職種の役割や制度等について在宅医療入門講座として連続講座を開催した。その中の講座の一つであった「人生の最終段階におけるケア」は、平成 30 年度から「テーマ研修」として継続して研修を開催している。
【結果】平成 26 年 4 月から令和元年 6 月までで、研修開催回数は 30 回、参加者は 25 職種、延べ 3,157 名であった。場所と時間を共有し、活発な意見交換、議論によりお互いの立場、悩み等を理解できる関係が出来つつある。
【考察】より緊密で、多職種のお互いの立場や活動を一層理解し共有するための取組みが今後求められる。「人生の最終段階におけるケア」について今年度は介護支援専門員への調査も予定しており、その結果を踏まえ継続して活動していきたい。

名張市在宅医療支援センター運営協議会規約

（名　称）

第１条　この協議会は、「名張市在宅医療支援センター運営協議会」（以下「協議会」という。）と称する。

（目　的）

第２条　協議会は、次の事業等について協議を行い、名張市在宅医療支援センターの円滑な運営に資することを目的とする。

（１）　在宅療養を希望する患者及びその家族を支援するための医療サービスの連携・調整

（２）在宅医療に関する相談

（３）在宅医療ネットワークづくり

（４）その他在宅医療推進のために必要な事業

（構　成）

第３条　協議会は、次の者をもって構成する。

（１）名賀医師会の会長	
（２）名賀医師会の理事	７名以内
（３）伊賀歯科医師会の代表者	１名
（４）伊賀薬剤師会の代表者	１名
（５）訪問看護ステーションの代表者	１名
（６）介護支援専門員の代表者	１名
（７）行政関係者	３名

（会　長）

第４条　協議会に、会長を置く。

２　会長は、名賀医師会の会長をもって充てる。

（会　議）

第５条　協議会の会議は、定例会及び臨時会とする

２　定例会は、年１回とし、臨時会は、会長が必要と認めた場合召集する。

３　会議の成立は、委員の過半数とし、会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（在宅支援実務者会議）

第６条　在宅医療の推進に関する実務について協議を行うため、協議会に、別に定める在宅支援実務者会議を置く。

（事務局）

第７条　協議会の庶務を処理するため、事務局を名張市在宅医療支援センターに置く。

（附　則）

この規約は、平成２３年４月１日から施行する。

（附　則）

この規約は、平成２７年４月１日から施行する。

（附　則）

この規約は、令和２年３月１日から施行する。

令和元年度在宅医療支援センター運営協議会委員名簿

	所　　属	氏　名	備　　考
1	名賀医師会	東　　明彦	会長
2	名賀医師会	稲持　英樹	副会長
3	名賀医師会	森岡　浩平	
4	名賀医師会	黒田　幹人	担当理事
5	名賀医師会	秋山　晃一	
6	名賀医師会	上坂　太祐	担当理事
7	名賀医師会	松村　典彦	
8	名賀医師会	釜本　寛之	
9	伊賀歯科医師会	平井　吾一	シルク歯科クリニック
10	伊賀薬剤師会	村上　博之	ききょう薬局
11	名張市訪問看護ステーション連絡会	高森　美穂	ハローケア訪問看護ステーション桔梗
12	主任介護支援専門員会	松元　典子	特別養護老人ホームグランツァ
13	名張市福祉子ども部	森嶋　和宏	福祉子ども部長
14	名張市福祉子ども部	西嶌　知子	福祉子ども部　理事
15	名張市福祉子ども部	中野　雅夫	地域包括支援センター長
	事務局	北森　祥子	
	事務局	山口　尚子	

名張市在宅支援実務者会議会則

（名　称）

第１条　この会議は、「名張市在宅支援実務者会議」（以下「実務者会議」という。）と称する。

（目　的）

第２条　実務者会議は、名張市在宅医療支援センター運営協議会の下部組織とし、名張市における在宅医療推進に関する実務について協議を行い、関係機関等との円滑な連携・支援体制を構築することを目的とする。

（構　成）

第３条　実務者会議は、次の者をもって構成する。

（１）名賀医師会の理事

（２）伊賀歯科医師会の代表者

（３）伊賀薬剤師会の代表者

（４）名張市立病院の代表者

（５）訪問看護ステーションの代表者

（６）介護支援専門員の代表者

（７）行政関係者

（８）その他

（代表者）

第４条　実務者会議に、代表者を置く。

２　代表者は、名賀医師会の理事をもって充てる。

（会　議）

第５条　会議は、必要に応じて代表者が招集する。

（事務局）

第７条　実務者会議の庶務を処理するため、事務局を名張市在宅医療支援センターに置く。

（附　則）

この規約は、平成２３年４月１日から施行する。

令和元年度　名張市在宅支援実務者会議構成員名簿

	所　　属	氏　名	備　　考
1	名賀医師会	東　明彦	会長
2	名賀医師会	黒田　幹人	担当理事
3	名賀医師会	上坂　太祐	担当理事
4	名賀医師会	橋本　修嗣	担当委員
5	伊賀歯科医師会	平井　吾一	シルク歯科クリニック
6	伊賀薬剤師会	村上　博之	ききょう薬局
7	名張市訪問看護ステーション連絡会	高森　美穂	ハローケア訪問看護ステーション桔梗
8	主任介護支援専門員会	松元　典子	特別養護老人ホームグランツァ
9	主任介護支援専門員会	萩森　真里子	養護老人ホームみさと園
10	名張伊賀地域訪問リハビリテーション連絡会	川本　猛	複合福祉施設「てらだ」
11	相談支援専門員	大和　智理	社会福祉法人　　名張育成会 のーまらいふ暖
12	寺田病院	勝又　広志	地域医療連携室
13	伊賀保健所	清田　早苗	保健衛生室
14	名張市立病院	近藤　誠吾	総合診療科医師
15	名張市立病院	裏南　菊代	看護部
16	名張市立病院	田邊　有紀	医事経営室
17	名張市福祉子ども部	永岡　一郎	医療福祉総務室
18	名張市福祉子ども部	柴垣　維乃	地域包括支援センター
19	伊賀市立上野総合市民病院地域医療連携室	岡本　京子	オブザーバー
20	岡波総合病院地域連携室	菅原　直人	オブザーバー
21	上野病院地域医療連携部	中山　滋美	オブザーバー
	事務局	北森　祥子	
	事務局	山口　尚子	

在宅医療等に関する実態調査集計（介護支援専門員対象）～令和元年10月給付管理分

目的：介護サービス利用者の医療に関するサービスの利用実態や介護支援専門員の医療との連携状況等を把握するとともに、課題整理することから在宅医療の推進及び医療介護連携を図っていく。

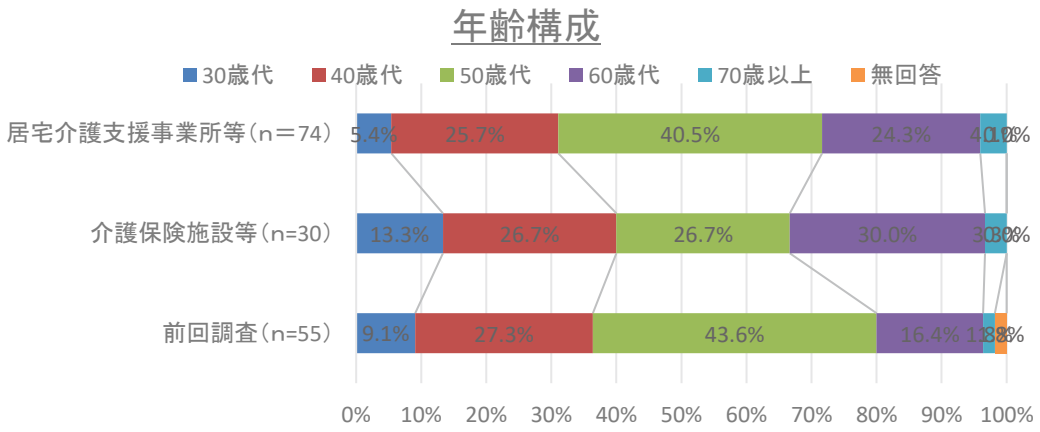
＊注　前回調査：平成27年11月実施（10月給付管理分）　居宅介護支援事業所介護支援専門員対象

回収率

	居宅介護支援事業所等・39か所	介護保険施設等・33か所	合計
配布数	90	43	133
回収数	74	30	104
回収率	82.2%	69.8%	78.2%

年齢

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
30歳代	4	5.4%	4	13.3%	5	9.1%
40歳代	19	25.7%	8	26.7%	15	27.3%
50歳代	30	40.5%	8	26.7%	24	43.6%
60歳代	18	24.3%	9	30.0%	9	16.4%
70歳以上	3	4.1%	1	3.3%	1	1.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



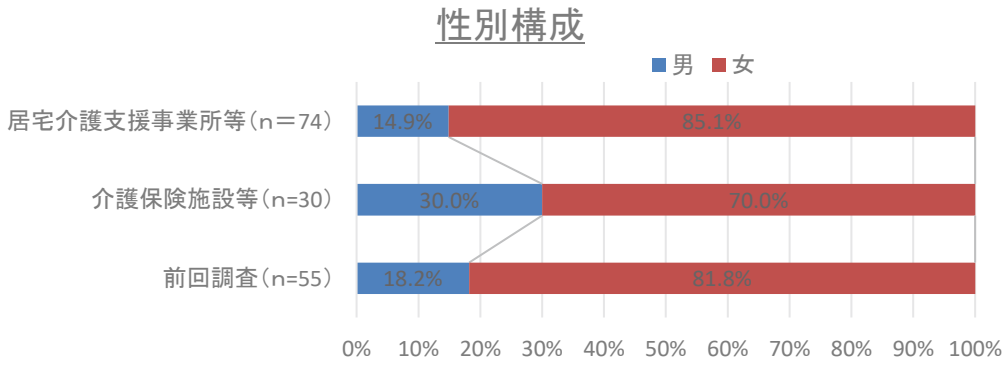
・居宅介護支援事業所等は50歳代が4割で40歳代、60歳代ほぼ同じ割合で合わせて5割をしめている。前回調査に比べ30歳代が減っている。

・介護保険施設等は40歳代50歳代60歳代とほぼ同じ割合である。居宅介護支援事業所等に比べ30歳代が13.3%と2倍余り多い。

在宅医療等に関する実態調査集計（介護支援専門員対象）～令和元年10月給付管理分

性別

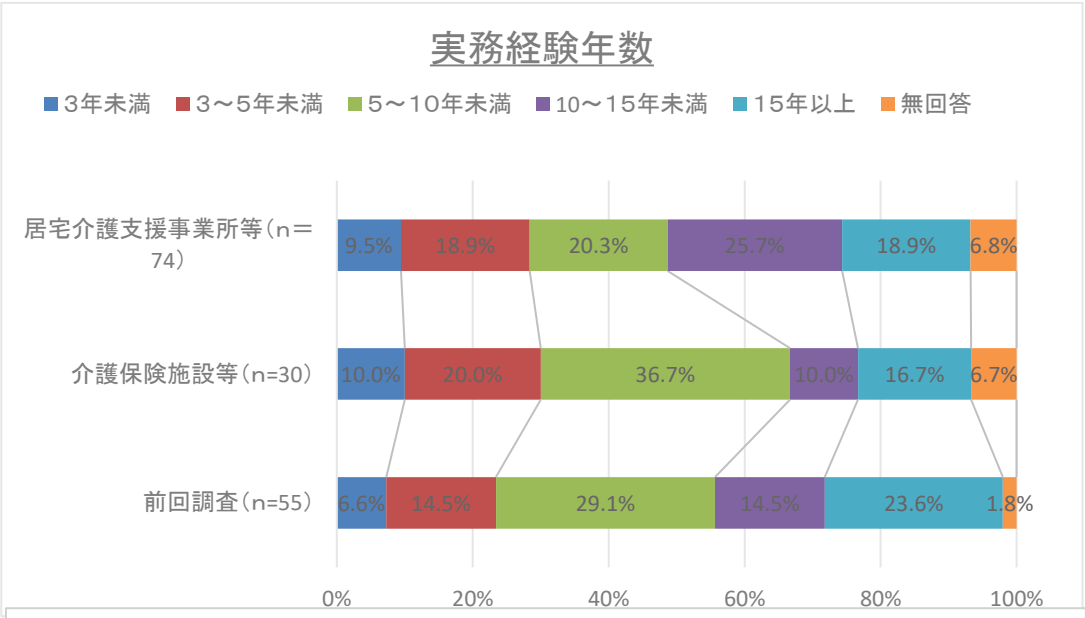
	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
男	11	14.9%	9	30.0%	10	18.2%
女	63	85.1%	21	70.0%	45	81.8%
合　　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



・介護保険施設等は、男性の占める割合が30%で居宅介護支援事業所等の15%の倍となっている。

実務経験年数

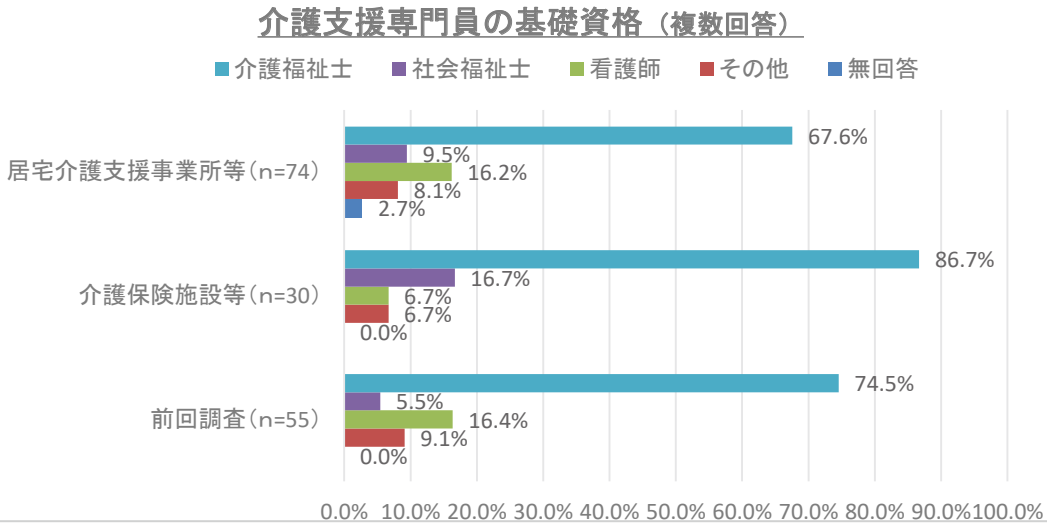
	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
3年未満	7	9.5%	3	10.0%	9	6.6%
3～5年未満	14	18.9%	6	20.0%	8	14.5%
5～10年未満	15	20.3%	11	36.7%	16	29.1%
10～15年未満	19	25.7%	3	10.0%	8	14.5%
15年以上	14	18.9%	5	16.7%	13	23.6%
無回答	5	6.8%	2	6.7%	1	1.8%
合　　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



・居宅介護支援事業所等は、10年以上の実務経験者が45%占めている。
・介護保険施設等は、5～10年未満の実務経験者が37%をしめ、一番多い。

基礎資格(複数回答)

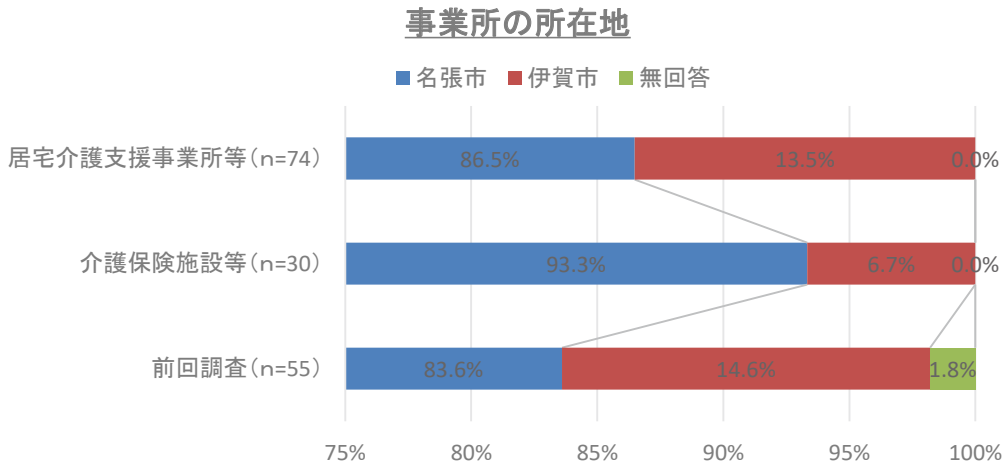
	居宅介護支援事業所等（n=74）		介護保険施設等（n=30）		前回調査（n=55）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
介護福祉士	50	67.6%	26	86.7%	41	74.5%
社会福祉士	7	9.5%	5	16.7%	3	5.5%
看護師	12	16.2%	2	6.7%	9	16.4%
その他	6	8.1%	2	6.7%	5	9.1%
無回答	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%



・社会福祉士の基礎資格の持つ方が増えている。
・介護保険施設等は、居宅介護支援事業所等より社会福祉士の基礎資格を持つ割合が多い。

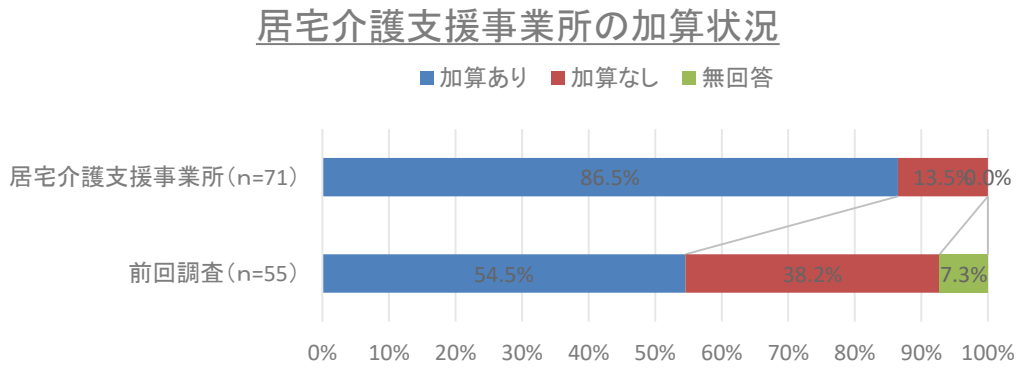
事業所の所在地

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
名張市	64	86.5%	28	93.3%	46	83.6%
伊賀市	10	13.5%	2	6.7%	8	14.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
合計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



特定事業加算の算定状況（居宅介護支援事業所のみ）

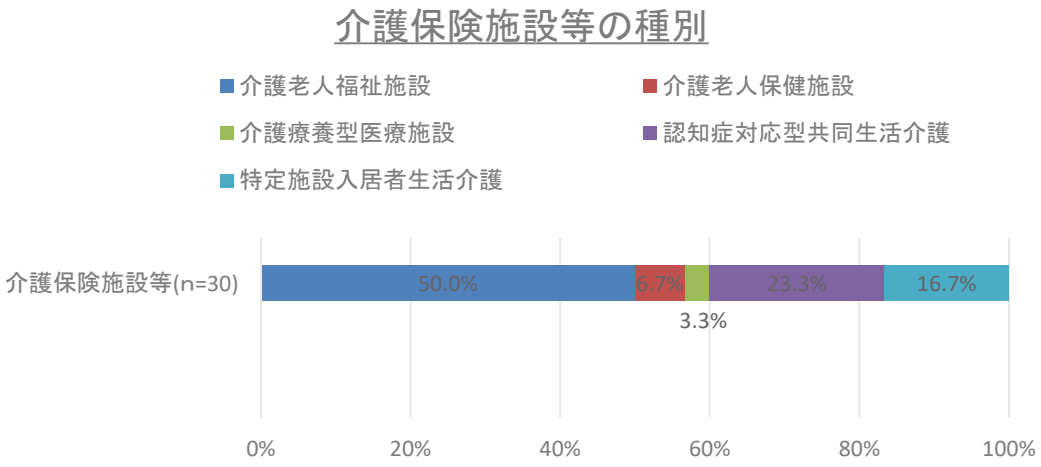
	居宅介護支援事業所等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
加算あり	48	67.6%	30	54.5%
加算なし	23	32.4%	21	38.2%
無回答			4	7.3%
合　計	71	100.0%	55	100.0%



・居宅介護支援事業所のほとんどが、事業所加算をとっている。

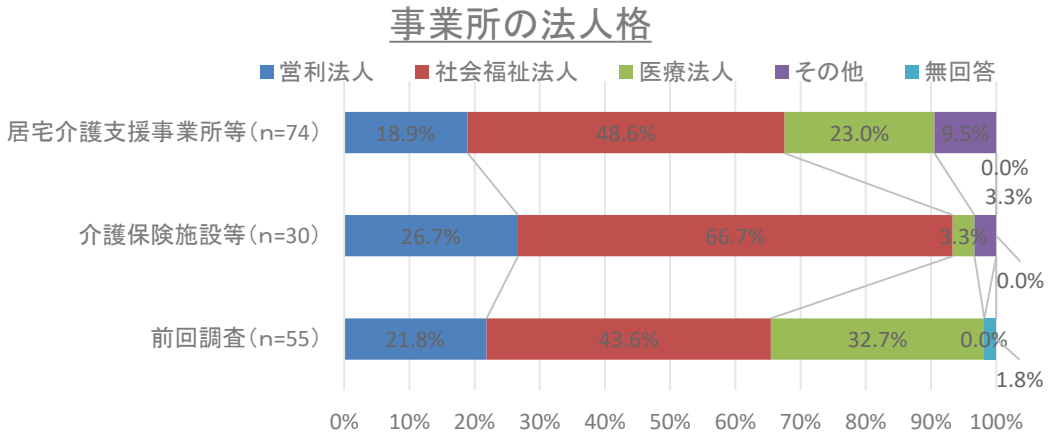
介護保険施設等の種別（介護保険施設等のみ）

	介護保険施設等	
	回答数	割合
介護老人福祉施設	15	50.0%
介護老人保健施設	2	6.7%
介護療養型医療施設	1	3.3%
認知症対応型共同生活介	7	23.3%
特定施設入居者生活介護	5	16.7%
合　　計	30	100.0%



事業所の法人格

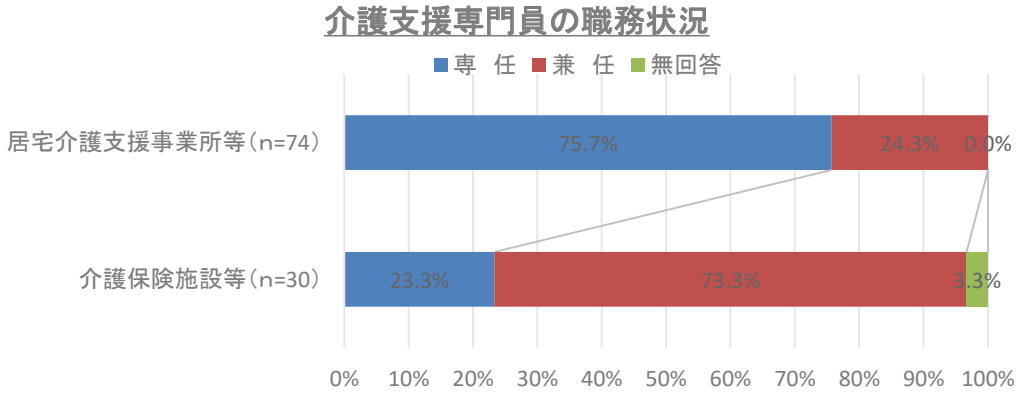
	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
営利法人	14	18.9%	8	26.7%	12	21.8%
社会福祉法人	36	48.6%	20	66.7%	24	43.6%
医療法人	17	23.0%	1	3.3%	18	32.7%
その他	7	9.5%	1	3.3%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



・居宅介護支援事業所等は5割近くが社会福祉法人で前回調査より増えている。

介護支援専門員の職務状況

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
専　任	56	75.7%	7	23.3%	63	60.6%
兼　任	18	24.3%	22	73.3%	40	38.5%
無回答	0	0.0%	1	3.3%	1	1.0%
合　　計	74	100.0%	30	100.0%	104	100.0%



・居宅介護支援事業所等は76%が専任であるが、介護保険施設等は、74%が兼任となっている。

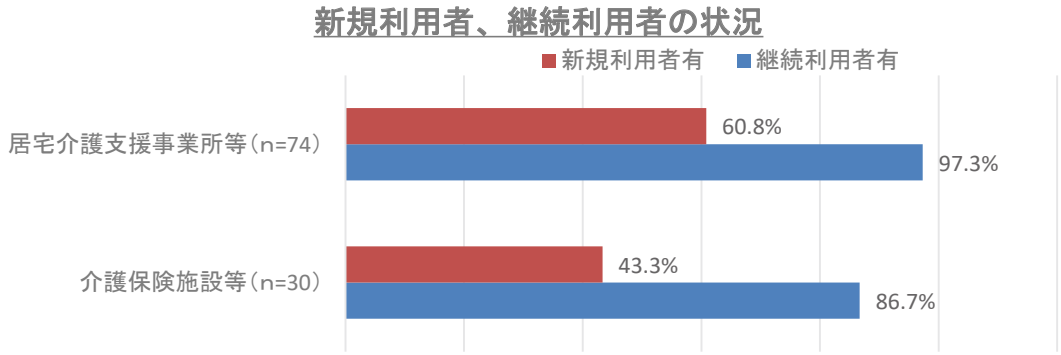
1. 令和元年10月介護保険サービス利用者の給付管理件数（要支援者、暫定利用者を除く）

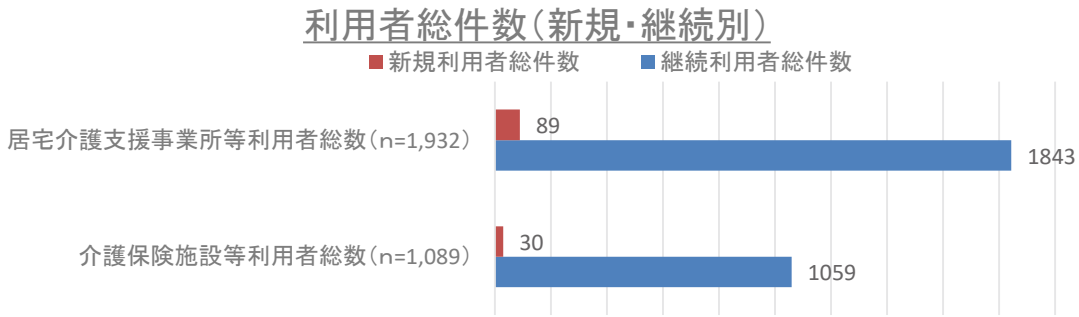
在宅医療等に関する実態調査集計（介護支援専門員対象）～令和元年10月給付管理分

1. 令和元年10月介護保険サービス利用者の給付管理件数（要支援者、暫定利用者を除く）

新規利用、継続利用の給付管理の有無と件数

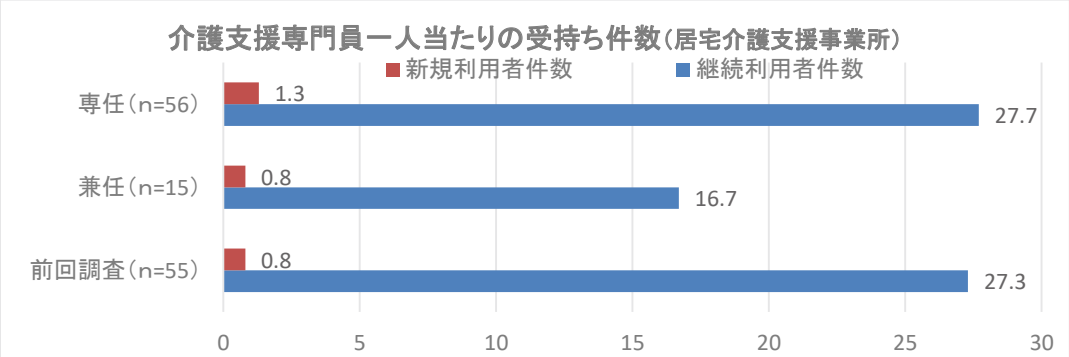
	居宅介護支援事業所等			介護保険施設等		
	回答数	割合	総件数	回答数	割合	総件数
新規利用者有	45	60.8%	89	13	43.3%	30
新規利用者無	28	37.8%		8	26.7%	
無回答	1	1.4%		9	30.0%	
合　計	74	100.0%		30	100.0%	
継続利用者有	72	97.3%	1,843	26	86.7%	1,059
継続利用者無	1	1.4%		0	0.0%	
無回答	1	1.4%		4	13.3%	
合　計	74	100.0%		30	100.0%	





居宅介護支援事業所の介護支援専門員一人当たりの受持ち件数

	居宅介護支援事業所等		前回調査
	専任	兼任	
新規利用者	1.3	0.8	0.8
継続利用者	27.7	16.7	27.3
合　計	29.0	17.5	28.1



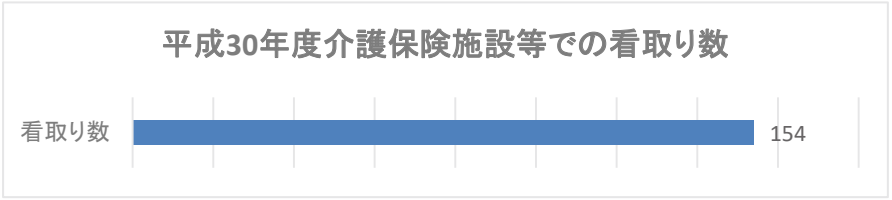
・居宅介護支援事業所の担当件数は、専任の場合、前回調査とほぼ変わらない。

2. 居宅介護支援事業所等での死亡による終了

10月1か月間で　総計　**19件**　　無回答　5

3. 介護保険施設等での看取り件数

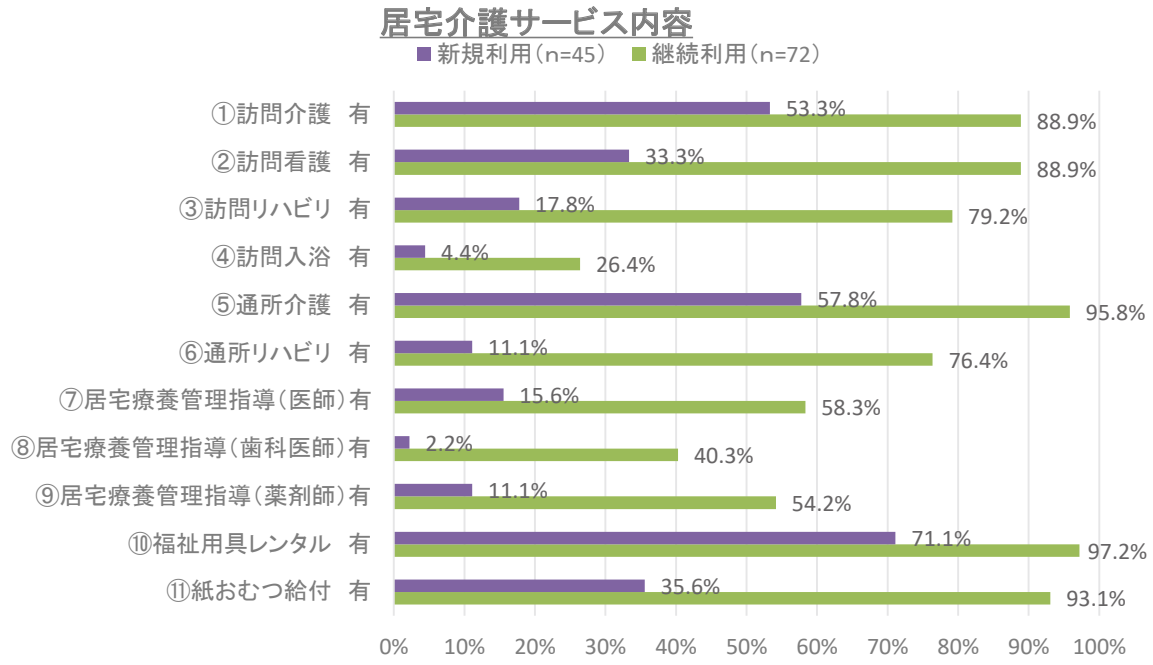
平成30年4月1日から平成31年3月末までの1年間での総件数　**154件**　　無回答　4



4. 令和元年10月利用者のうち次の介護保険サービスを利用した状況　（居宅介護支援事業所等のみ）

新規利用有（n=45）、継続利用者有（n=72）のサービス利用状況

	新規利用	対新規%	継続利用	対継続%	合計	
①訪問介護　有	24	53.3%	64	88.9%	88	75.2%
②訪問看護　有	15	33.3%	64	88.9%	79	67.5%
③訪問リハビリ　有	8	17.8%	57	79.2%	65	55.6%
④訪問入浴　有	2	4.4%	19	26.4%	21	17.9%
⑤通所介護　有	26	57.8%	69	95.8%	95	81.2%
⑥通所リハビリ　有	5	11.1%	55	76.4%	60	51.3%
⑦居宅療養管理指導（医師）有	7	15.6%	42	58.3%	49	41.9%
⑧居宅療養管理指導（歯科医師）有	1	2.2%	29	40.3%	30	25.6%
⑨居宅療養管理指導（薬剤師）有	5	11.1%	39	54.2%	44	37.6%
⑩福祉用具レンタル　有	32	71.1%	70	97.2%	102	87.2%
⑪紙おむつ給付　有	16	35.6%	67	93.1%	83	70.9%

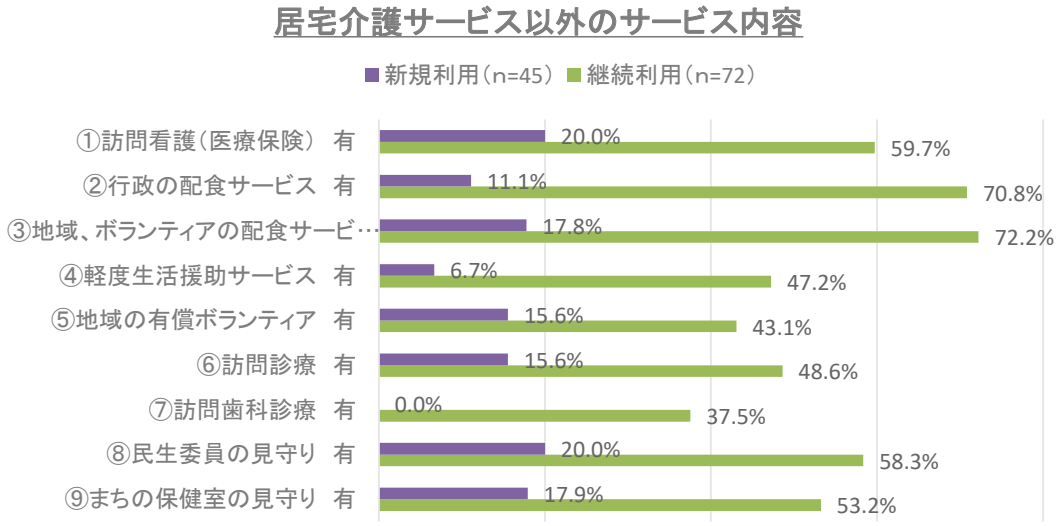


・新規利用の場合は、福祉用具レンタル、通所介護、訪問介護が多いが、継続利用になると、サービスの種類は増える。

5. 居宅介護サービス以外のサービス利用状況（居宅介護支援事業所等のみ）

新規利用有（n=45）、継続利用者有（n=72）のサービス利用状況

	新規利用	対新規%	継続利用	対継続%	合計	
①訪問看護（医療保険）　有	9	20.0%	43	59.7%	52	44.4%
②行政の配食サービス　有	5	11.1%	51	70.8%	56	47.9%
③地域、ボランティアの配食サービス	8	17.8%	52	72.2%	60	51.3%
④軽度生活援助サービス　有	3	6.7%	34	47.2%	47	40.2%
⑤地域の有償ボランティア　有	7	15.6%	31	43.1%	38	32.5%
⑥訪問診療　有	7	15.6%	35	48.6%	42	35.9%
⑦訪問歯科診療　有	0	0.0%	27	37.5%	27	23.1%
⑧民生委員の見守り　有	9	20.0%	42	58.3%	51	43.6%
⑨まちの保健室の見守り　有	7	17.9%	33	53.2%	40	39.6%

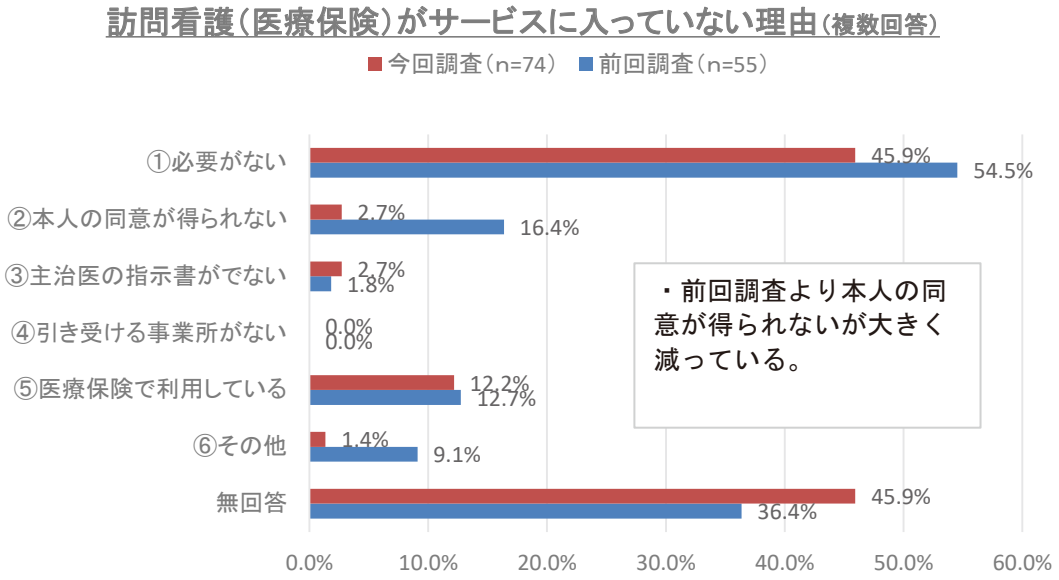


・継続利用になるとサービスの種類が増える。

6. 医療系サービスが入っていない理由（複数回答）（居宅介護支援事業所等のみ）

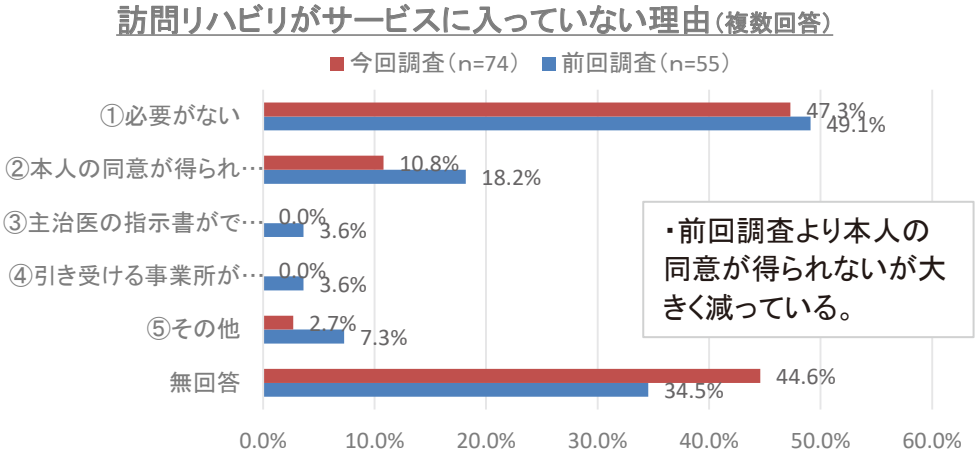
（1）訪問看護

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①必要がない	34	45.9%	30	54.5%
②本人の同意が得られない	2	2.7%	9	16.4%
③主治医の指示書がでない	2	2.7%	1	1.8%
④引き受ける事業所がない	0	0.0%	0	0.0%
⑤医療保険で利用している	9	12.2%	7	12.7%
⑥その他	1	1.4%	5	9.1%
無回答	34	45.9%	20	36.4%



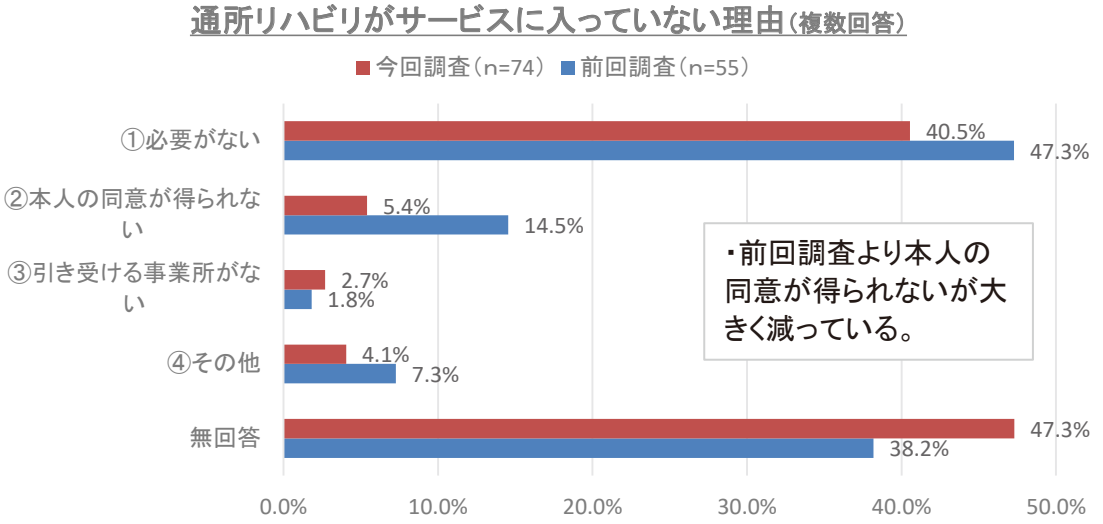
（2）訪問リハビリ

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①必要がない	35	47.3%	27	49.1%
②本人の同意が得られない	8	10.8%	10	18.2%
③主治医の指示書がでない	0	0.0%	2	3.6%
④引き受ける事業所がない	0	0.0%	2	3.6%
⑤その他	2	2.7%	4	7.3%
無回答	33	44.6%	19	34.5%



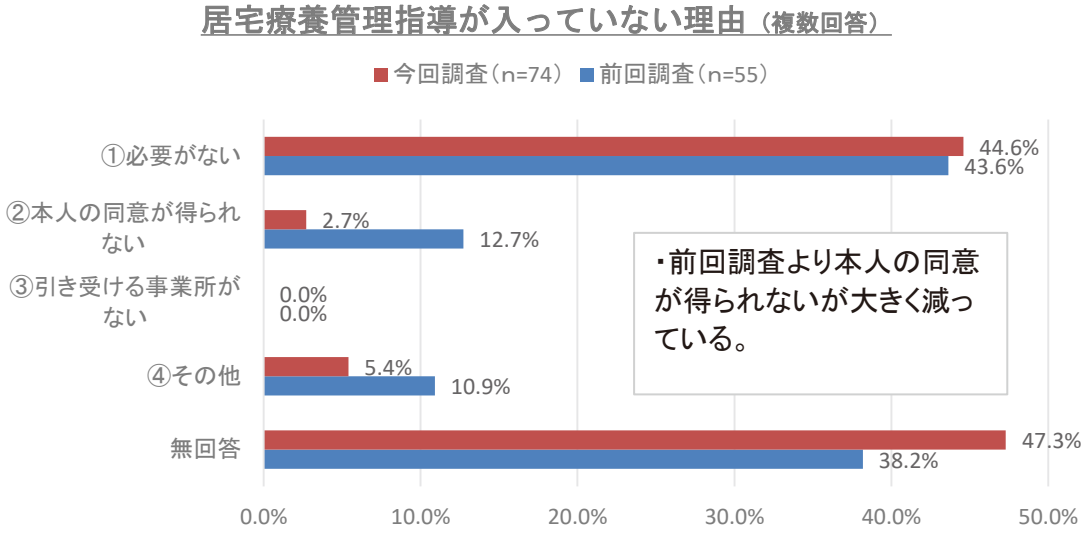
（3）通所リハビリ

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①必要がない	30	40.5%	26	47.3%
②本人の同意が得られない	4	5.4%	8	14.5%
③引き受ける事業所がない	2	2.7%	1	1.8%
④その他	3	4.1%	4	7.3%
無回答	35	47.3%	21	38.2%



（4）居宅療養管理指導

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①必要がない	33	44.6%	24	43.6%
②本人の同意が得られない	2	2.7%	7	12.7%
③引き受ける事業所がない	0	0.0%	0	0.0%
④その他	4	5.4%	6	10.9%
無回答	35	47.3%	21	38.2%



7. 主治医連絡の状況

令和元年10月サービス利用者（居宅介護支援事業所等が給付管理した方）の主治医連絡の状況

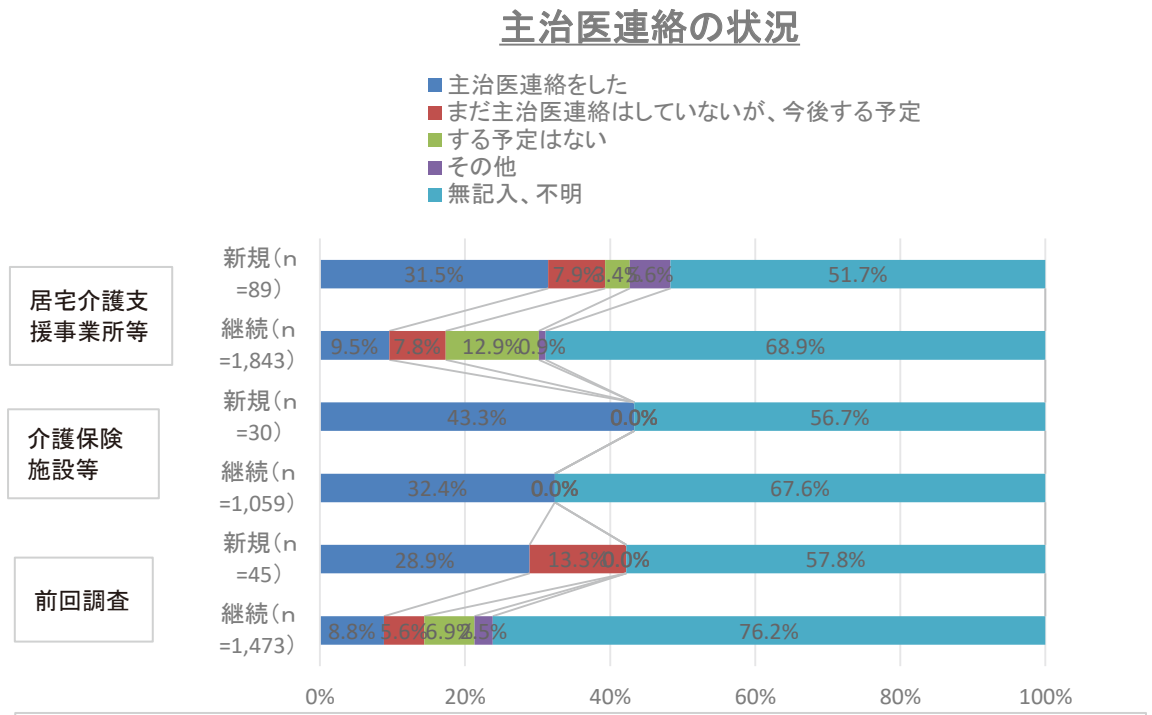
今回調査	居宅介護支援事業所等					
	新規	割合	継続	割合	合計	割合
①主治医連絡をした	28	31.5%	176	9.5%	204	10.6%
②まだ主治医連絡はしていな	7	7.9%	143	7.8%	150	7.8%
③する予定はない	3	3.4%	237	12.9%	240	12.4%
④その他	5	5.6%	17	0.9%	22	1.1%
⑤無記入、不明	46	51.7%	1,270	68.9%	1316	68.1%
合　　計	89	100.0%	1,843	100.0%	1,932	100.0%

令和元年10月介護保険施設等の利用者の主治医連絡の状況

今回調査	介護保険施設等					
	新規	割合	継続	割合	合計	割合
①主治医連絡をした	13	43.3%	343	32.4%	356	32.7%
②まだ主治医連絡はしていな	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
③する予定はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
④その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑤無記入、不明	17	56.7%	716	67.6%	733	67.3%
合　　計	30	100.0%	1,059	100.0%	1089	100.0%

令和元年10月サービス利用者（居宅介護支援事業所等が給付管理した方）の主治医連絡前回調査との比較

	今回調査			前回調査		
	新規割合	継続割合	合計割合	新規割合	継続割合	合計割合
①主治医連絡をした	31.5%	9.5%	10.6%	28.9%	8.8%	9.4%
②まだ主治医連絡はしていないが、今後する予定	7.9%	7.8%	7.8%	13.3%	5.6%	5.8%
③する予定はない	3.4%	12.9%	12.4%	0.0%	6.9%	6.7%
④その他	5.6%	0.9%	1.1%	0.0%	2.5%	2.4%
⑤無記入、不明	51.7%	68.9%	68.1%	57.8%	76.2%	75.6%
合　　計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



・居宅介護支援事業所等では、主治医連絡をした、今後する予定が、前回調査より増えている。

8. 医療サービス等の認知や利用状況など（居宅介護支援事業所等のみ）

（1）訪問歯科診療

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①知っていて使った利用者がいる	57	77.0%	41	74.5%
②知っているが利用者がいない	15	20.3%	14	25.5%
③知らない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	2.7%	0	0.0%
合　計	74	100.0%	55	100.0%

（2）訪問薬剤管理指導

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①知っていて使った利用者がいる	49	66.2%	16	29.1%
②知っているが利用者がいない	22	29.7%	37	67.3%
③知らない	1	1.4%	1	1.8%
④無回答	2	2.7%	1	1.8%
合　計	74	100.0%	55	100.0%

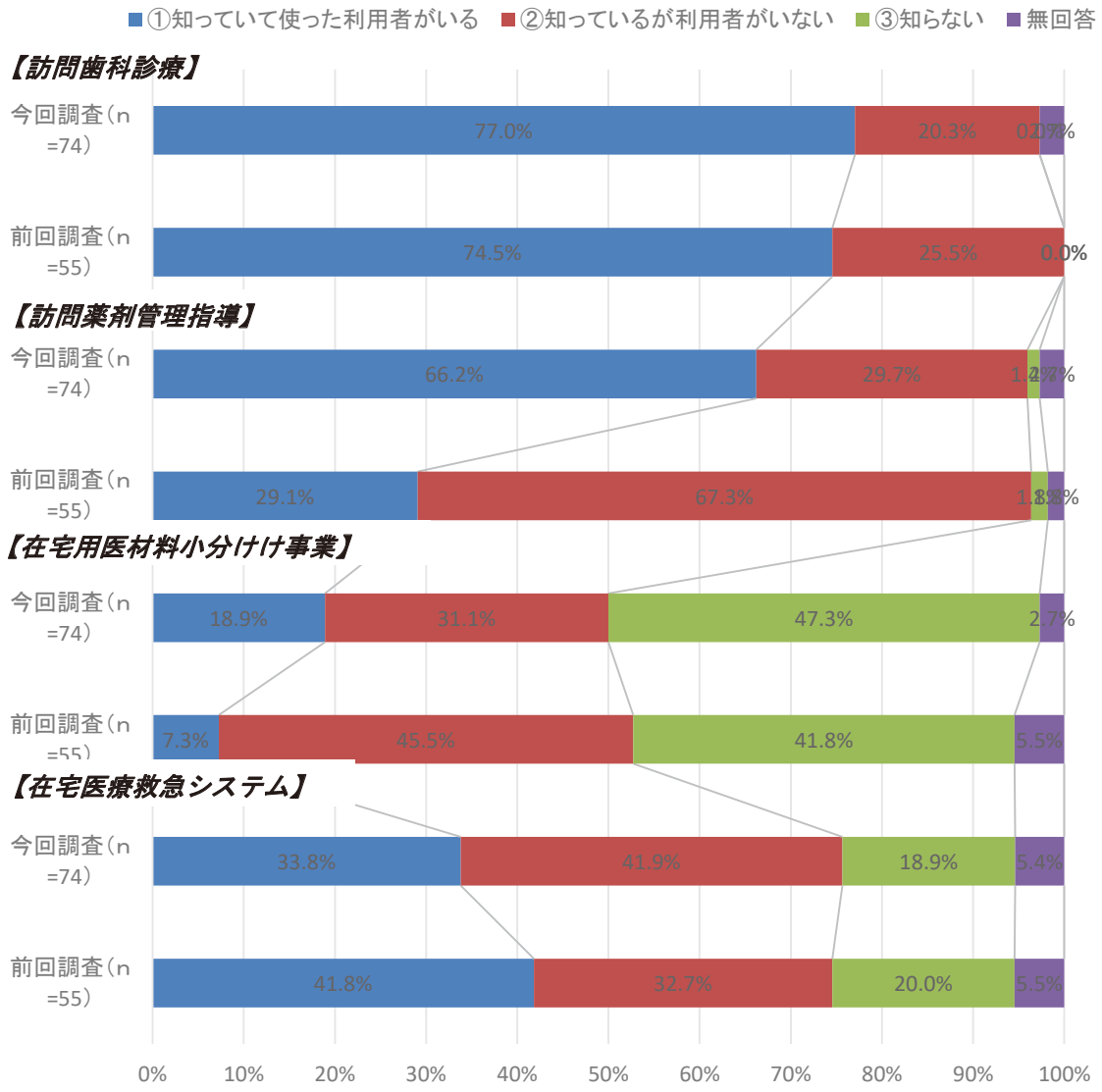
（3）在宅用医材料小分け事業

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①知っていて使った利用者がいる	14	18.9%	4	7.3%
②知っているが利用者がいない	23	31.1%	25	45.5%
③知らない	35	47.3%	23	41.8%
④無回答	2	2.7%	3	5.5%
合　計	74	100.0%	55	100.0%

（4）在宅医療救急システム

	今回調査		前回調査	
	回答数	割合	回答数	割合
①知っていて使った利用者がいる	25	33.8%	23	41.8%
②知っているが利用者がいない	31	41.9%	18	32.7%
③知らない	14	18.9%	11	20.0%
④無回答	4	5.4%	3	5.5%
合　計	74	100.0%	55	100.0%

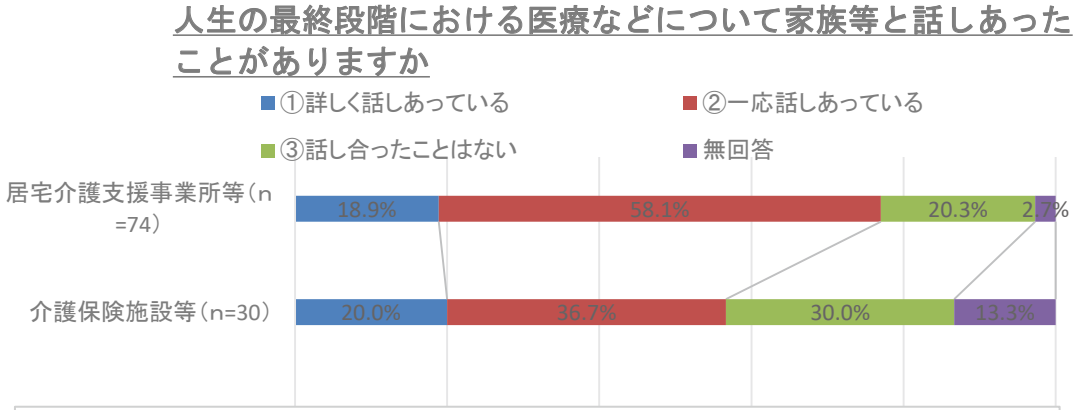
医療サービスなどの認知や利用状況



・訪問歯科診療は、「知っていて利用者がいる」が増えている。「知らない」が前回同様いない。
・訪問薬剤管理指導は、「知っていて使った利用者がいる」が、前回調査より倍以上増えている。
・在宅用医材料小分け事業は、「知っていて使った利用者がいる」が増えているが、「知らない」も増えている。
・在宅医療救急システムは、「知っていて使った利用者がいる」と「知っているが利用者がいない」を合わせた割合いが前回調査とほぼ同じである。

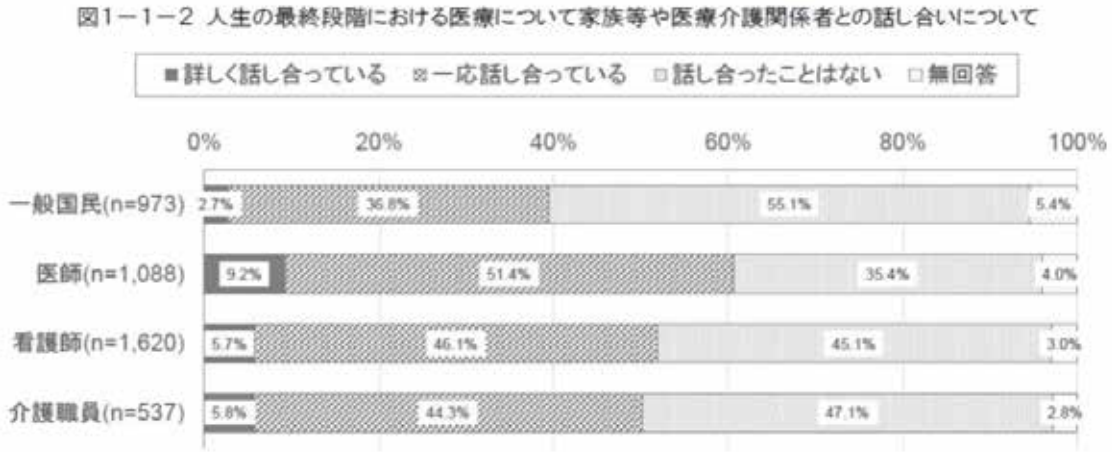
9．質問：あなたが死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とどのくらい話し合ったことがありますか。（○は1つ）

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①詳しく話しあっている	14	18.9%	6	20.0%	20	19.2%
②一応話しあっている	43	58.1%	11	36.7%	54	51.9%
③話し合ったことはない	15	20.3%	9	30.0%	24	23.1%
④無回答	2	2.7%	4	13.3%	6	5.8%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	104	100.0%



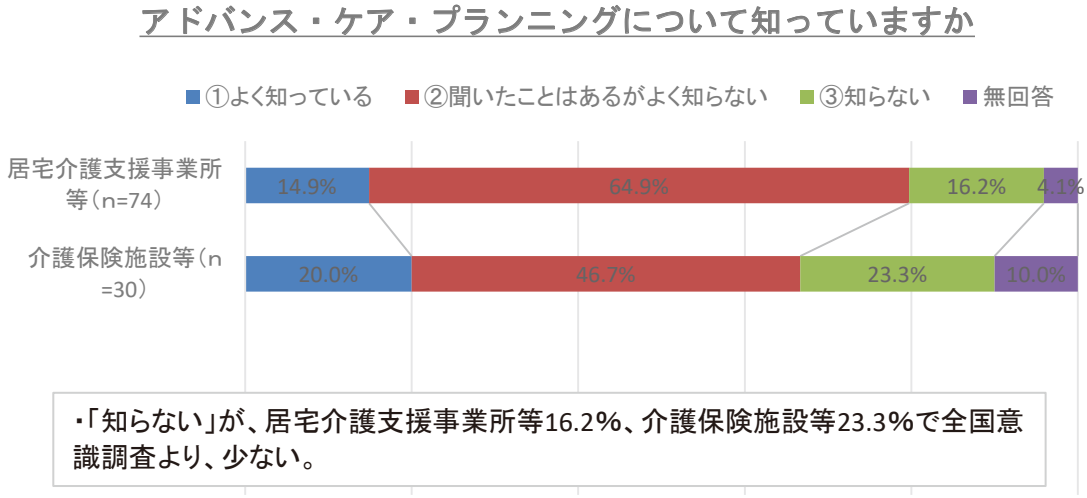
・「話あったことはない」が、居宅介護支援事業所等は20%、介護保険施設等は30%となっており、全国意識調査より少ない。

【参考】
『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書』から抜粋
平成30年3月　人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会



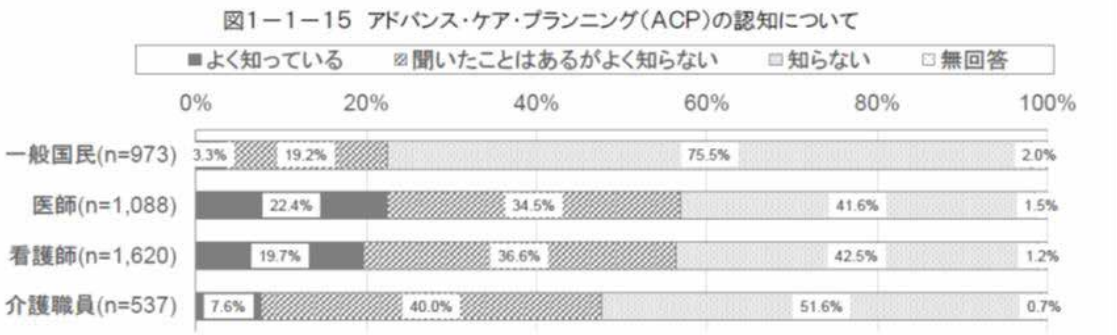
10. 質問：あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について知っていますか。
（○は1つ）

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①よく知っている	11	14.9%	6	20.0%	17	16.3%
②聞いたことはあるがよく知らない	48	64.9%	14	46.7%	62	59.6%
③知らない	12	16.2%	7	23.3%	19	18.3%
④無回答	3	4.1%	3	10.0%	6	5.8%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	104	100.0%



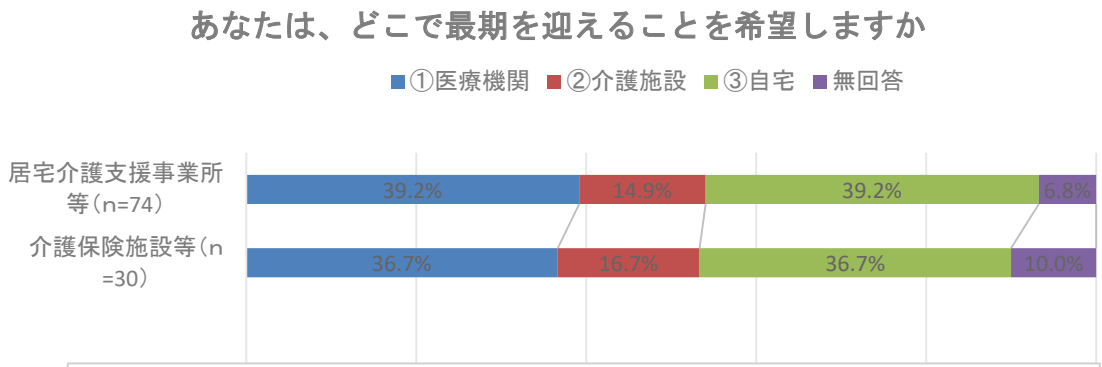
・「知らない」が、居宅介護支援事業所等16.2%、介護保険施設等23.3%で全国意識調査より、少ない。

【参考】
『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書』から抜粋
平成30年3月　人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会



11．質問：あなたは、どこで最期を迎えることを希望しますか。（○は1つ）

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①医療機関	29	39.2%	11	36.7%	40	38.5%
②介護施設	11	14.9%	5	16.7%	16	15.4%
③自宅	29	39.2%	11	36.7%	40	38.5%
無回答	5	6.8%	3	10.0%	8	7.7%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	104	100.0%



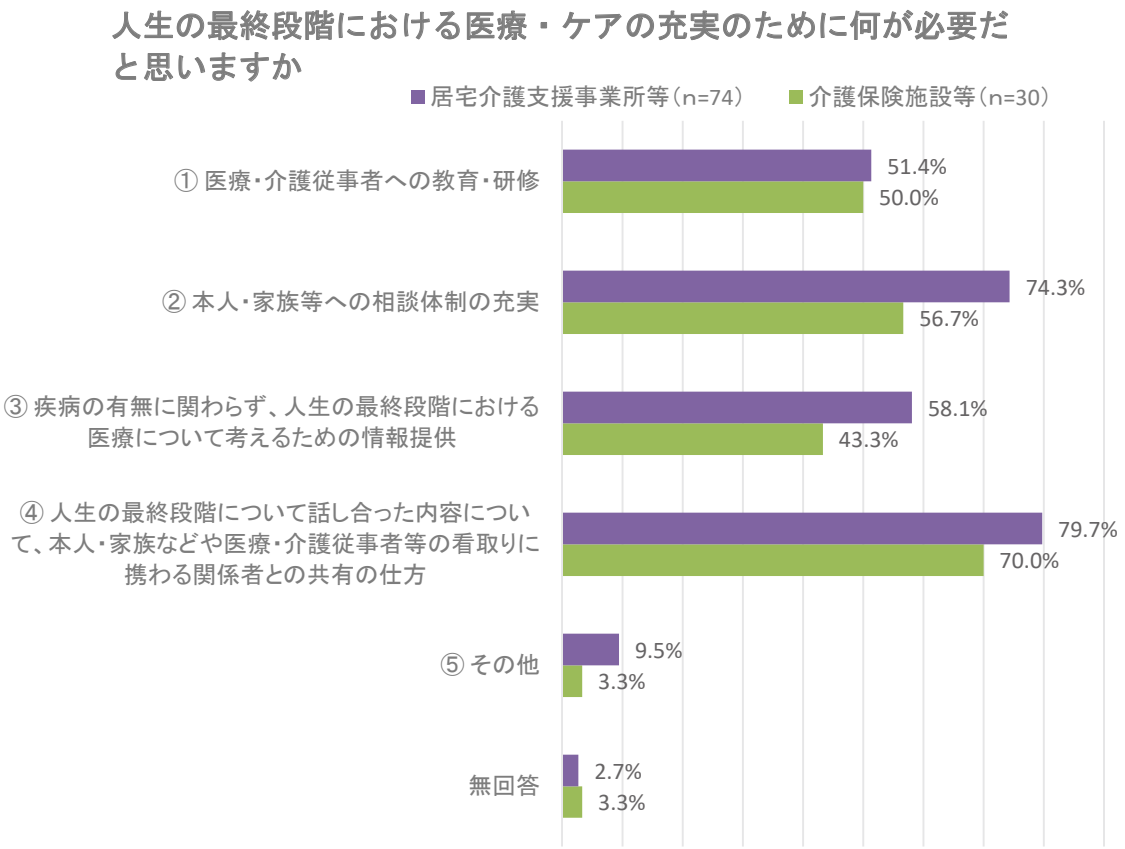
・最期を迎えたい場所は、全国意識調査と比べて、「自宅」が少なく、「医療機関」「介護施設」が多い。

【参考】
『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書』から抜粋
平成30年3月　人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会

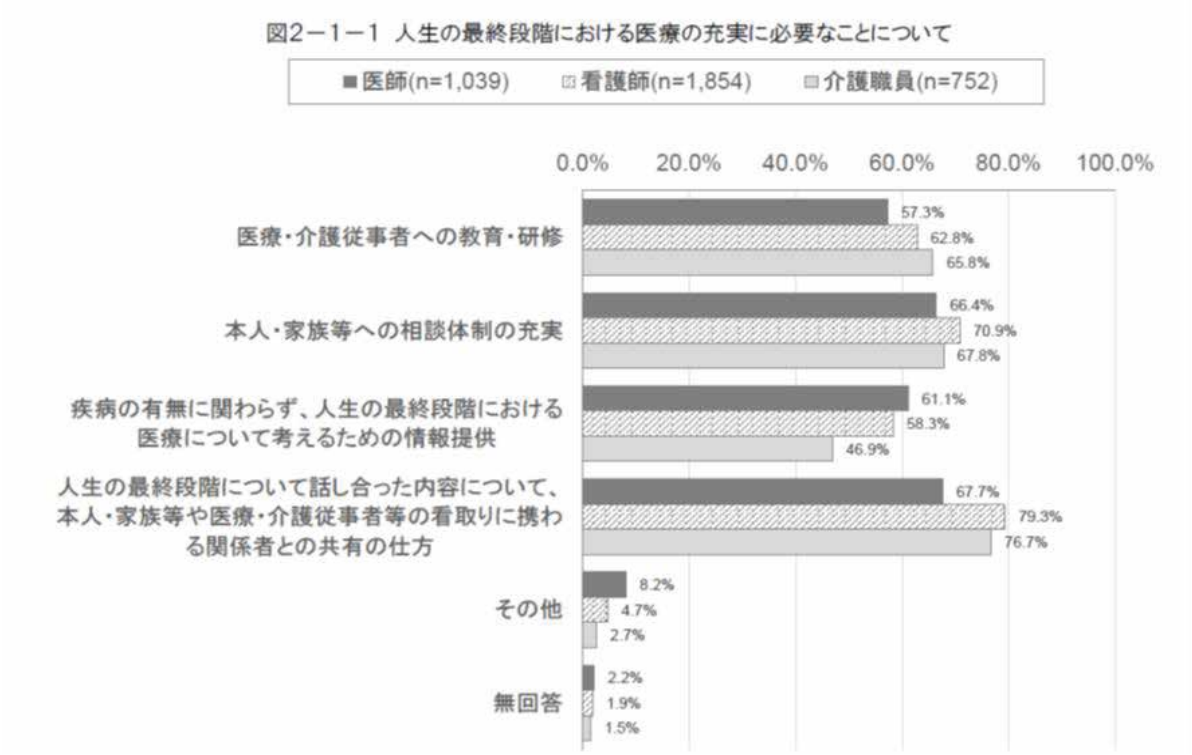
図1－2－2　最期を迎えたい場所

12. 質問：本人の意向を尊重した人生の最終段階における医療・ケアの充実のために、何が必要だと思いますか。（複数回答）

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 医療・介護従事者への教育・研修	38	51.4%	15	50.0%	53	51.0%
② 本人・家族等への相談体制の充実	55	74.3%	17	56.7%	72	69.2%
③ 疾病の有無に関わらず、人生の最終段階における医療について考えるための情報提供	43	58.1%	13	43.3%	56	53.8%
④ 人生の最終段階について話し合った内容について、本人・家族などや医療・介護従事者等の看取りに携わる関係者との共有の仕方	59	79.7%	21	70.0%	80	76.9%
⑤ その他	7	9.5%	1	3.3%	8	7.7%
無回答	2	2.7%	1	3.3%	3	2.9%



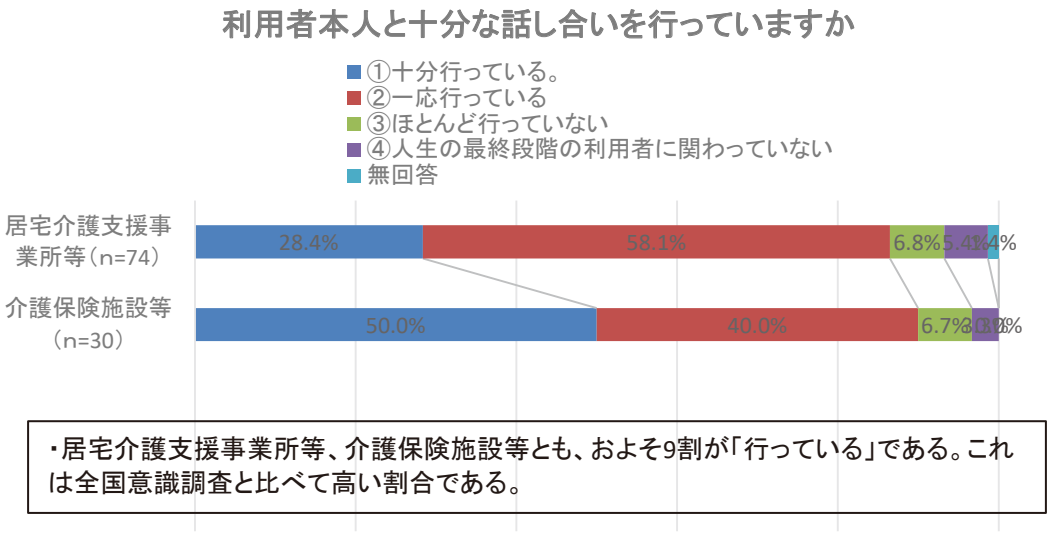
【参考】
『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書』から抜粋
平成30年3月　人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会



・人生の最終段階における医療・ケアの充実のために必要なことは、「本人・家族等への相談体制の充実」「疾病の有無に関わらず、人生の最終段階における医療について考えるための情報提供が」、居宅介護支援事業所等は介護保険施設等より多い。
・全体の傾向としては全国意識調査と同じである。

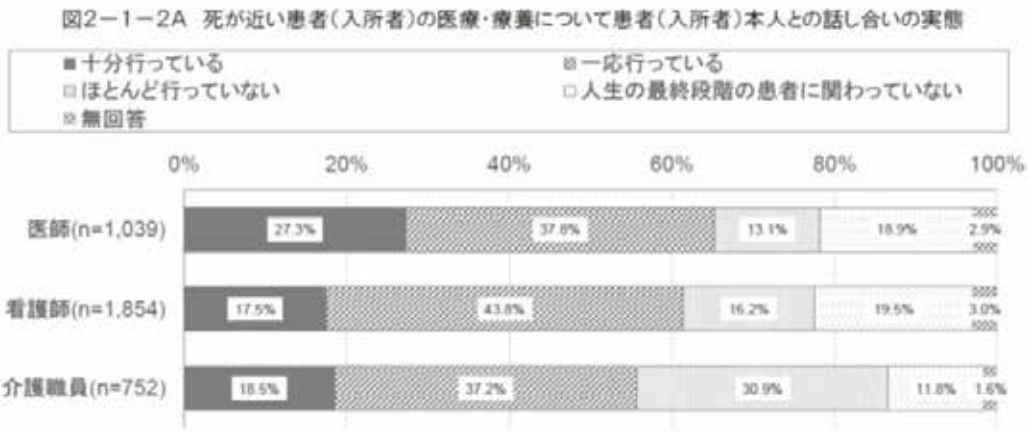
13. 質問：死が近い利用者の医療・療養について利用者本人と十分な話し合いを行っていますか。利用者本人の意思が確認できない場合は、利用者の意思に基づいて家族などと話合っていますか。（○は1つ）

	居宅介護支援事業所等		介護保険施設等		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①十分行っている。	21	28.4%	15	50.0%	36	34.6%
②一応行っている	43	58.1%	12	40.0%	55	52.9%
③ほとんど行っていない	5	6.8%	2	6.7%	7	6.7%
④人生の最終段階の利用者に関わってい?	4	5.4%	1	3.3%	5	4.8%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	1	1.0%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	104	100.0%



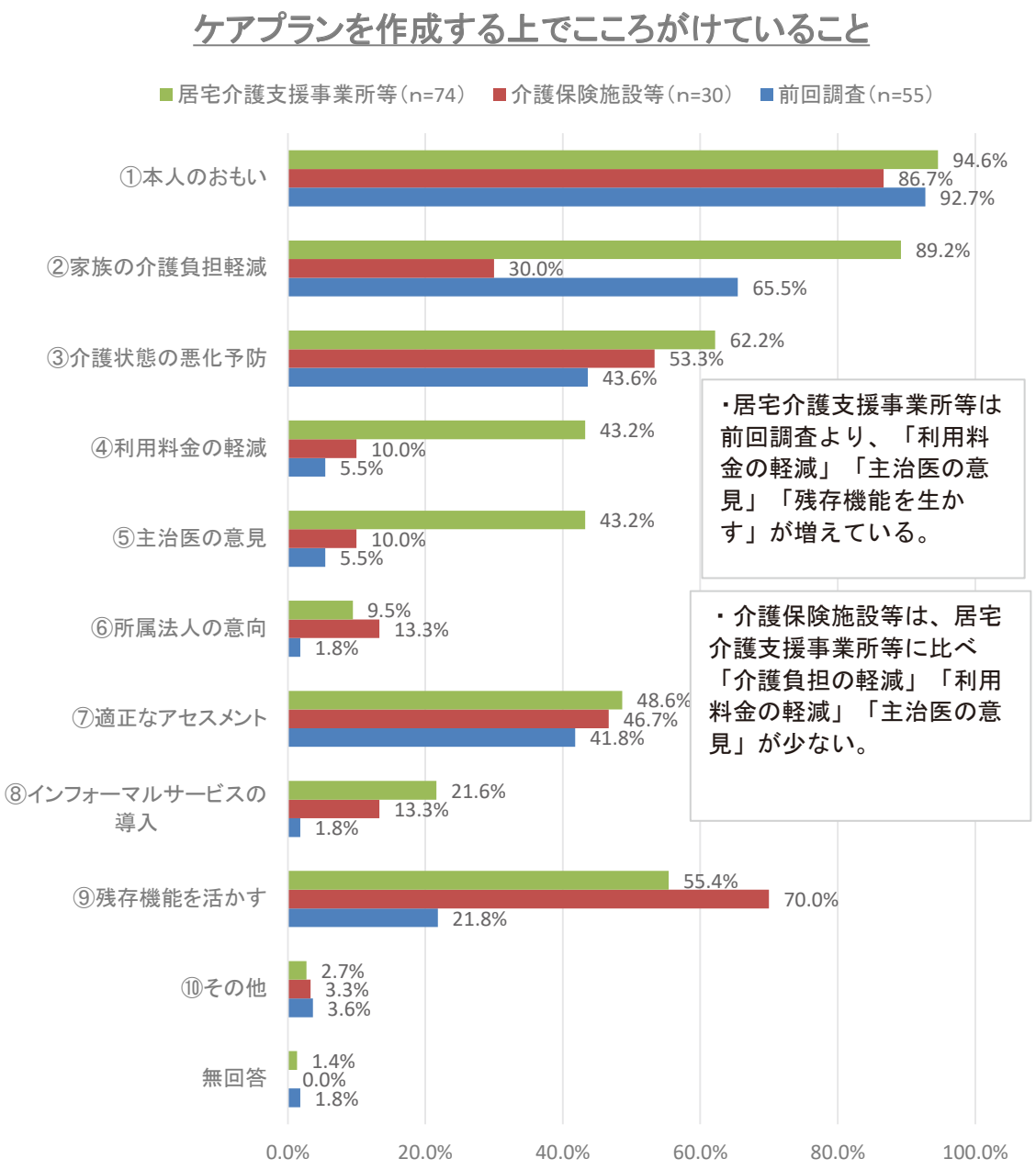
・居宅介護支援事業所等、介護保険施設等とも、およそ9割が「行っている」である。これは全国意識調査と比べて高い割合である。

【参考】
『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書』から抜粋
平成30年3月　人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会



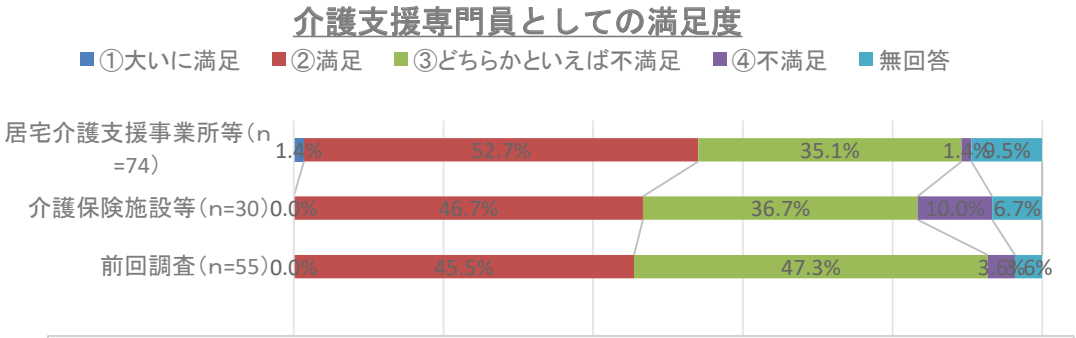
14. ケアプランを作成する上でこころがけていること（複数回答）

	居宅介護支援事業所等（n=74）		介護保険施設等（n=30）		前回調査（n=55）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①本人のおもい	70	94.6%	26	86.7%	51	92.7%
②家族の介護負担軽減	66	89.2%	9	30.0%	36	65.5%
③介護状態の悪化予防	46	62.2%	16	53.3%	24	43.6%
④利用料金の軽減	32	43.2%	3	10.0%	3	5.5%
⑤主治医の意見	32	43.2%	3	10.0%	3	5.5%
⑥所属法人の意向	7	9.5%	4	13.3%	1	1.8%
⑦適正なアセスメント	36	48.6%	14	46.7%	23	41.8%
⑧インフォーマルサービスの導	16	21.6%	4	13.3%	1	1.8%
⑨残存機能を活かす	41	55.4%	21	70.0%	12	21.8%
⑩その他	2	2.7%	1	3.3%	2	3.6%
無回答	1	1.4%	0	0.0%	1	1.8%



15. 介護支援専門員としての満足度

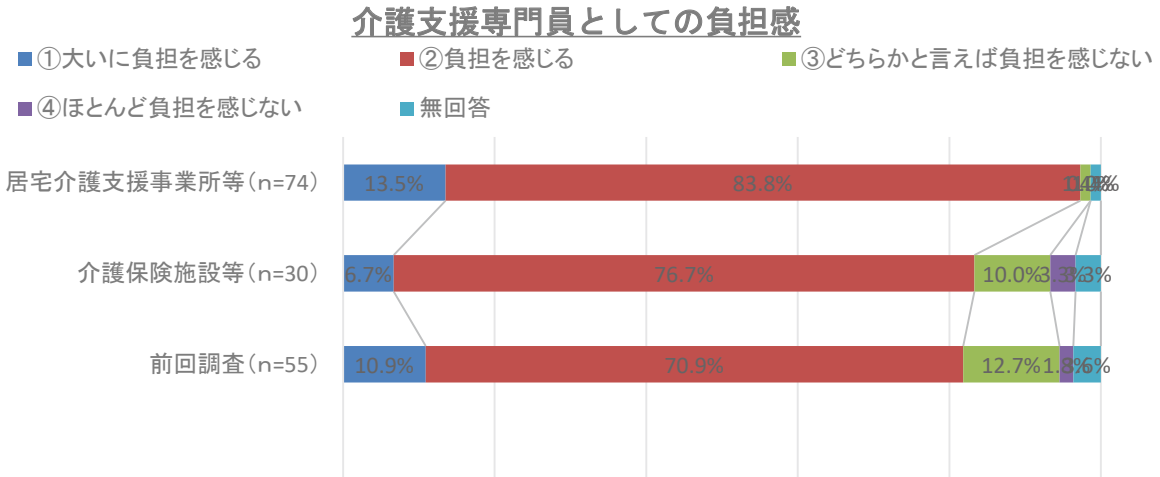
	居宅介護支援事業所等（n=74）		介護保険施設等（n=30）		前回調査（n=55）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①大いに満足	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
②満足	39	52.7%	14	46.7%	25	45.5%
③どちらかといえば不満足	26	35.1%	11	36.7%	26	47.3%
④不満足	1	1.4%	3	10.0%	2	3.6%
無回答	7	9.5%	2	6.7%	2	3.6%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



・居宅介護支援事業所等、介護保険施設等と併せて、約半数は「満足」である。

16. 介護支援専門員としての負担感

	居宅介護支援事業所等（n=74）		介護保険施設等（n=30）		前回調査（n=55）	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①大いに負担を感じる	10	13.5%	2	6.7%	6	10.9%
②負担を感じる	62	83.8%	23	76.7%	39	70.9%
③どちらかと言えば負担を感じない	1	1.4%	3	10.0%	7	12.7%
④ほとんど負担を感じない	0	0.0%	1	3.3%	1	1.8%
無回答	1	1.4%	1	3.3%	2	3.6%
合　計	74	100.0%	30	100.0%	55	100.0%



・居宅介護支援事業所等の介護支援専門員は、97%に負担感があり、前回調査より増えている。
・介護保険施設等の介護支援専門員は、83%に負担感がある。

名張市在宅医療支援センター　沿革

年	月	日	概　　要
平成 21	4	27	・第１回地域医療（ケア）整備検討委員会開催 23 年 3 月末までに　同検討委員会 18 回開催
平成 22	5	17	・第１回基本情報作成部会開催 同年度内に４回開催
	5	24	・第１回医療関係部会開催 同年度内に３回開催
	6	14	・第１回医療機関ガイドブック・マップ作成部会開催 同年度内に５回開催
平成 23	3	31	・名張市在宅医療支援センターを保健センター２階倉庫改修整備する。
	4	1	・名張市在宅医療支援センター開所 　名張市在宅医療支援センターの運営を名張市は名賀医師会に委託（名張市は三重県地域医療再生事業補助金交付をうける。） ・名張市在宅医療支援センター運営協議会規約及び名張市在宅支援実務者会議会則制定 ・職員１名配置（社会福祉士）
平成 24	4	1	・職員体制 2 名となる。（社会福祉士１名、保健師１名）
	4	1	・名賀医師会が厚生労働省から平成 24 年度在宅医療連携拠点事業の委託をうける。
平成 25	4	1	・名張市在宅医療支援センターの運営を名張市は名賀医師会に委託（名張市は三重県地域医療再生事業補助金交付をうける。）
	10	1	・在宅医療救急システム開始
平成 26	4	1	・名張市在宅医療支援センターの運営を名張市は名賀医師会に委託（名張市は三重県地域医療再生事業補助金交付をうける。） ・職員体制変更、保健師１名、事務１名となる。
平成 27	4	1	・名張市在宅医療支援センターの運営を名張市は名賀医師会に委託（名張市は介護保険　地域支援事業　医療介護連携事業として位置付ける。） ・名賀医師会が三重県から「かかりつけ医による地域医療支援プログラム研究開発事業」を受託。これにより『よくバリ青春体操』を開発。 ・『第１回医療介護福祉フェスタ』を名賀医師会と名張市共催で開催。
平成 28	12	4	・『第２回医療介護福祉フェスタ』を名賀医師会と名張市共催で開催。
平成 29	11	12	・『第３回医療介護福祉フェスタ』を名賀医師会と名張市共催で開催。
平成 30	11	11	・医療介護福祉フェスタと従前から開催されていた健康フェスタを『健康・医療介護福祉フェスタ 2018』として合同開催。また『とれたて名張』と同時開催。
令和元	11	10	・医療介護福祉フェスタと健康フェスタを『健康・医療介護福祉フェスタ 2019』として合同開催。また『とれたて名張』と同時開催。

出典：三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成 27 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016 年

令和２年度名張市在宅医療支援センター運営報告

（令和元年度実績）

令和３年３月発行

名賀医師会　　名張市在宅医療支援センター

〒518-0721　　三重県名張市朝日町 1361-4 番地
電話番号　　0595-48-7840
ファックス番号　　0595-48-7841